

もくじ

1. はじめに	4
1-1. ITF Protector+ について	4
1-2. 動作環境	4
2. ITF Protector+ の動作を設定する	5
2-1. ITF Protector+ 環境設定画面	5
2-2. 環境設定を行う - [一般] タブ	6
2-3. 環境設定を行う - [イメージ変換] タブ	7
2-4. 環境設定を行う - [セキュリティ] タブ	10
2-5. 環境設定を行う - [動作設定] タブ	12
2-6. 環境設定を行う - [バージョン情報] タブ	14
3. インターネット接続環境を設定する	15
4. 用紙設定を行う	16
5. 仮想プリンタの追加・削除を行う	18
6. ITFファイルを作成する	20
6-1. 仮想プリンタからITFファイルを作成する	20
6-2. ファイルを開かずにITFファイルを作成する	21
6-3. ITF Protector+ ITFファイル設定画面	21
6-4. ITFファイルの設定を行う - [一般] タブ	22
6-5. ITFファイルの設定を行う - [イメージ変換] タブ	23
6-6. ITFファイルの設定を行う - [セキュリティ] タブ	28
6-7. ヘルプを見る - [バージョン情報] タブ	30
6-8. ITFファイルを出力する	31
7. ITFファイル作成時の設定をテンプレート (雛形) 化する	32
7-1. テンプレート管理画面	32
7-2. テンプレートを使用する	32
7-3. テンプレートを保存する	33
7-4. テンプレートの名前を変更する/テンプレートを削除する	33
7-5. グループを編集する	34
7-6. テンプレートを移動する	34
8. ITF Protector+ をバージョンアップする	35
9. Webサイト「NET Security」について	37
9-1. ログインパスワードの設定	37
9-2. メニューについて	37
10. ITFファイルの管理	38
10-1. リストページの概要	38
10-2. アイテムを検索する	39
10-3. ITFファイルを編集する	40
10-4. ITFファイルの編集/閲覧履歴を閲覧する	42

もくじ

10-5. ITFファイルを削除する	42
10-6. フォルダを作成する	43
10-7. フォルダを編集する	43
10-8. フォルダを削除する	44
10-9. アイテムを移動する	45
10-10. 複数のアイテムをまとめて削除する	45
10-11. ITFファイルの閲覧者を限定する	46
11. ゴミ箱の整理	47
11-1. 画面概要	47
11-2. ゴミ箱内を検索する	48
11-3. ITFファイルを復元する	48
11-4. ITFファイルを削除する	49
12. ホストの管理	50
12-1. リストページの概要	50
12-2. ホストを検索する	51
12-3. ホストを登録する	51
12-4. ホストを編集する	52
12-5. ホストを削除する	52
13. 閲覧者の管理	53
13-1. リストページの概要	53
13-2. 閲覧者を検索する	54
13-3. 閲覧者を登録する	54
13-4. 閲覧者を編集する	55
13-5. 閲覧者を削除する	55
14. 閲覧者グループの管理	56
14-1. リストページの概要	56
14-2. 閲覧者グループを登録する	56
14-3. 閲覧者グループを編集する	57
14-4. 閲覧者グループを削除する	57
15. 通知設定とデータ保管期間	58
16. ログインパスワードの変更	58

1. はじめに

この度は、弊社製品「ITF Protector+」をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

ご使用いただく前に、本書をよくお読みいただき、製品を正しくお使いください。

また、本書はいつでもご覧いただけるよう、保管しておいてください。

1-1. ITF Protector+ について

「ITF Protector+」は、ITF形式ファイルを作成する、アプリケーションです。

ITF形式とは、知的財産権を守るために開発された、高セキュリティなドキュメントファイルです。

セキュリティの強度は、ITFファイルの作成者により、一方的に指定できます。

従って、閲覧者はその範囲内でしか、ドキュメントを扱えません。

また、ITFファイルは、閲覧専用のアプリケーション「ITF Viewer」以外では閲覧できませんので、さらに高いセキュリティを維持することができます。

1-2. 動作環境

■対応OS

Windows 10 (32bit/64bit), Windows 8.1 (32bit/64bit), Windows 8 (32bit/64bit),
Windows 7 (32bit/64bit)

■メモリ

512MB以上推奨

■空ディスク容量

5MB以上推奨

※作業容量は別途必要。

必要容量は、用紙サイズ・解像度・ページ数により変化します。

解像度(dpi)	必要容量
300 (既定値)	約30MB
200	約15MB

■その他、制約事項など

- 次の場合に、インターネットへの接続が必要です。
 1. ライセンス認証
 2. NETセキュリティを使用した、ITFファイルの作成時
- ITF作成・閲覧時の速度は、お使いのPCのCPU、メモリに大きく影響されます。より高速な動作をご希望の場合は、これらの性能をアップしてください。
- ITF閲覧の際、一時的に圧縮前と同等の作業容量が必要になります。高解像度の大幅図面などを閲覧の際は、ディスクの空き容量にご注意ください。
- 64bitのOS上では、32bit互換モード (wow64) で動作します。
- 本製品のインストール・アンインストール、及び一部機能のご利用には、コンピュータの管理者権限でのログオンが必要です。

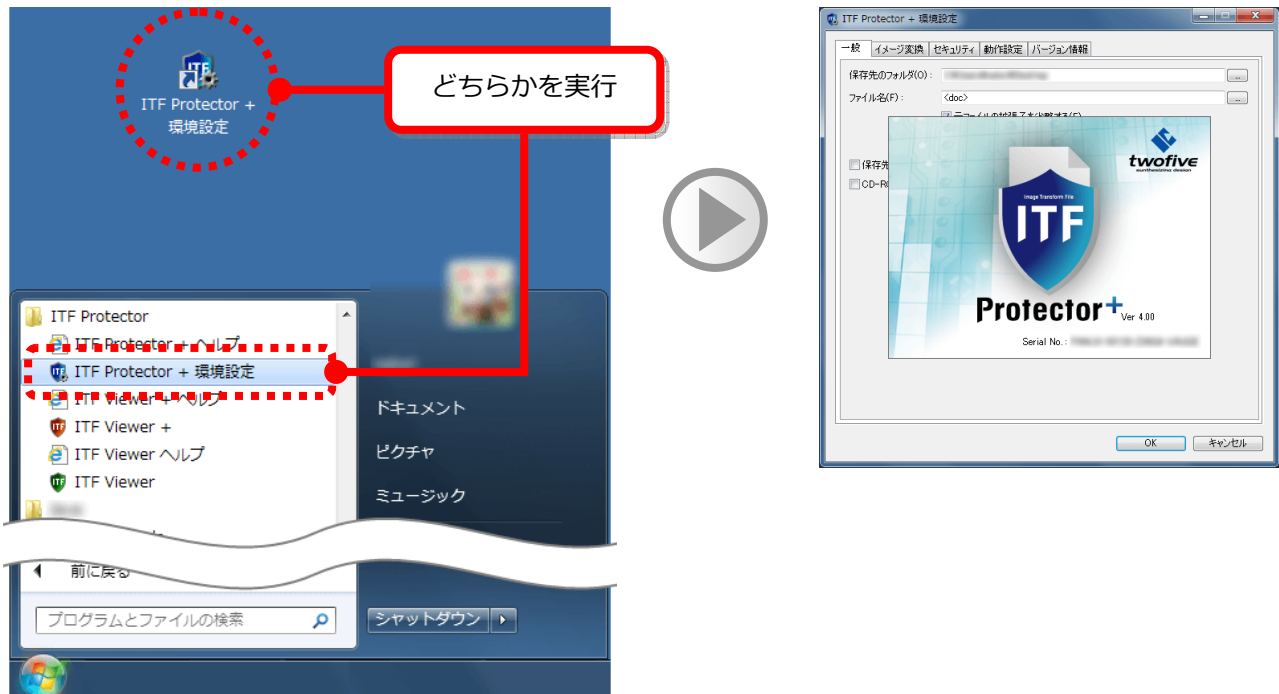
2. ITF Protector+ の動作を設定する

ITFファイル作成時の動作を、変更することができます。

Windows のプログラムメニューから、[ITF Protector+ 環境設定] を選択してください。

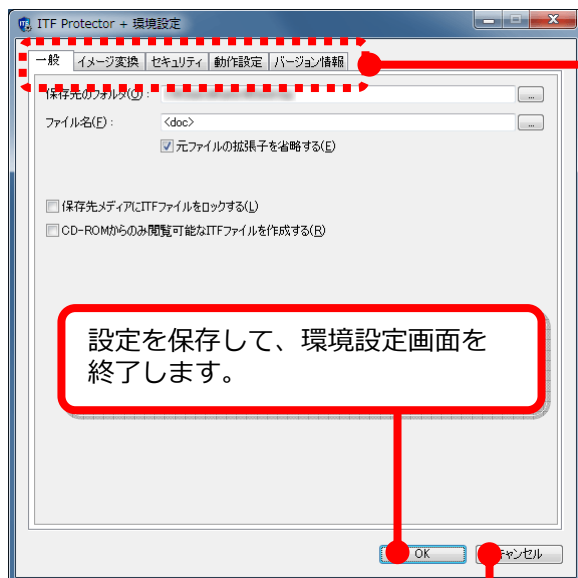
また、インストール時にデスクトップにアイコンを作成するよう指定した場合は、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックしてください。

環境設定画面が起動します。



2-1. ITF Protector+ 環境設定画面

この画面では、ITF Protector+ の動作設定を行います。



設定を保存して、環境設定画面を終了します。

設定を保存せずに、環境設定画面を終了します。

設定項目カテゴリータブ

各設定項目は、カテゴリー毎に分類されています。各タブをクリックすると、タブに対応した項目の設定ページに切り替わります。

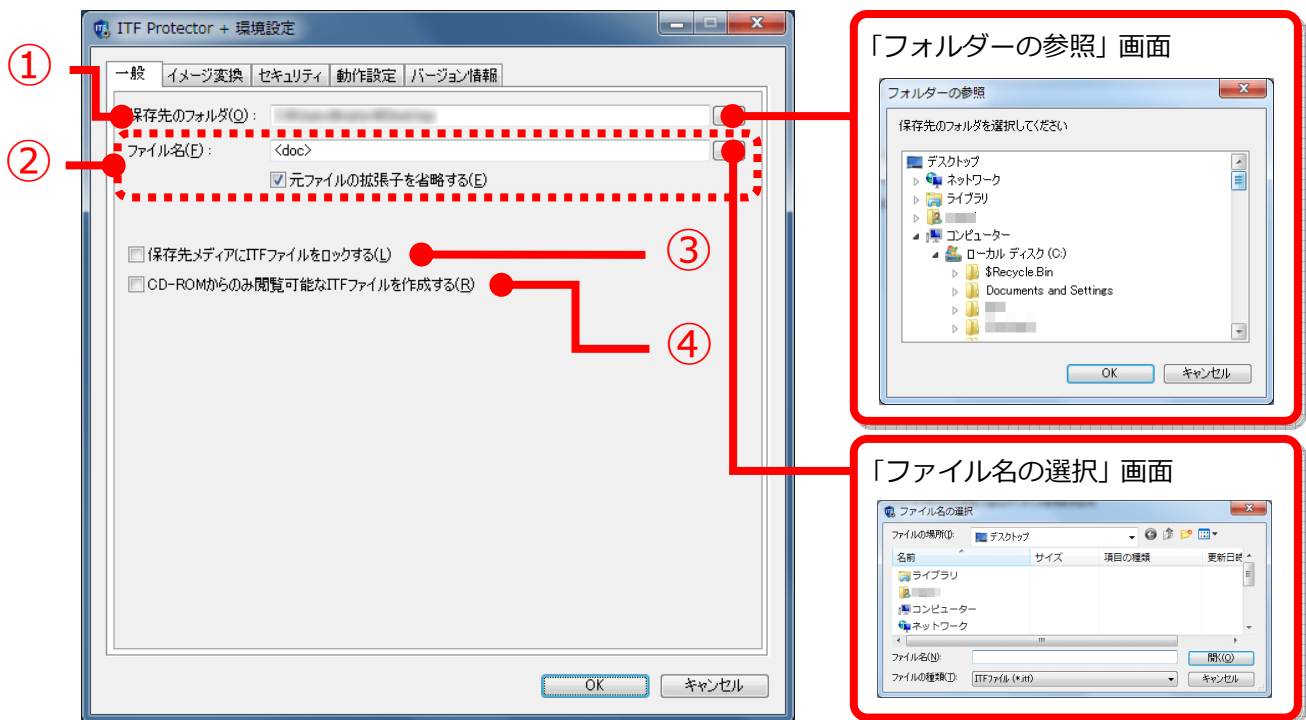
- [一般] タブ
ファイルの作成場所や、ファイル名についての設定を行います。(→P.7)
- [イメージ変換] タブ
画像変換処理についての設定を行います。(→P.8)
- [セキュリティ] タブ
ファイルのセキュリティについての設定を行います。(→P.11)
- [動作設定] タブ
ITF Protector+ の動作についての設定を行います。(→P.13)
- [バージョン情報] タブ
ITF Protector+ のバージョン情報を表示します。(→P.15)

2-2. 環境設定を行う - [一般] タブ

[一般] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。

この画面では、ITFファイル作成時のファイル出力に関する初期値を設定します。

解説を参考に、各項目を設定してください。



① ITFファイルの保存先を指定します。

[...] ボタンをクリックして、「フォルダーの参照」画面から選択入力することもできます。

② ITFファイルの名前を、任意に指定します。

ファイル名には、次の置換文字列を使用することもできます。

- <ymd> ファイルの作成日付 (年月日) に置換されます。
- <hms> ファイルの作成時刻 (時分秒) に置換されます。
- <doc> 元データのファイル名に置換されます。
「元ファイルの拡張子を省略する」にチェックを入れると、拡張子を取り除いた名称で置換されます。

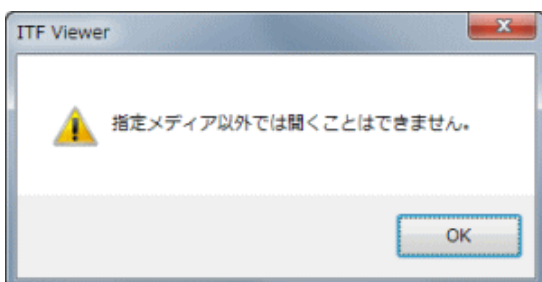
■置換文字列の使用例

下の設定の場合は、「あいう20150401えお」となります。(※2015年4月1日に作成時)

ファイル名(E): あいう<ymd>えお

③ ここにチェックを入れて作成したITFファイルは、作成した出力先媒体 (ハードディスクやUSBメモリ) の外では、閲覧できなくなります。

※この機能は、④の「CD-ROMからのみ閲覧可能なITFファイルを作成する」との併用はできません。



- ④ ここにチェックを入れて作成したITFファイルは、CD-R/RW、またはDVD-R/RWに記録された状態でないと閲覧できなくなります。

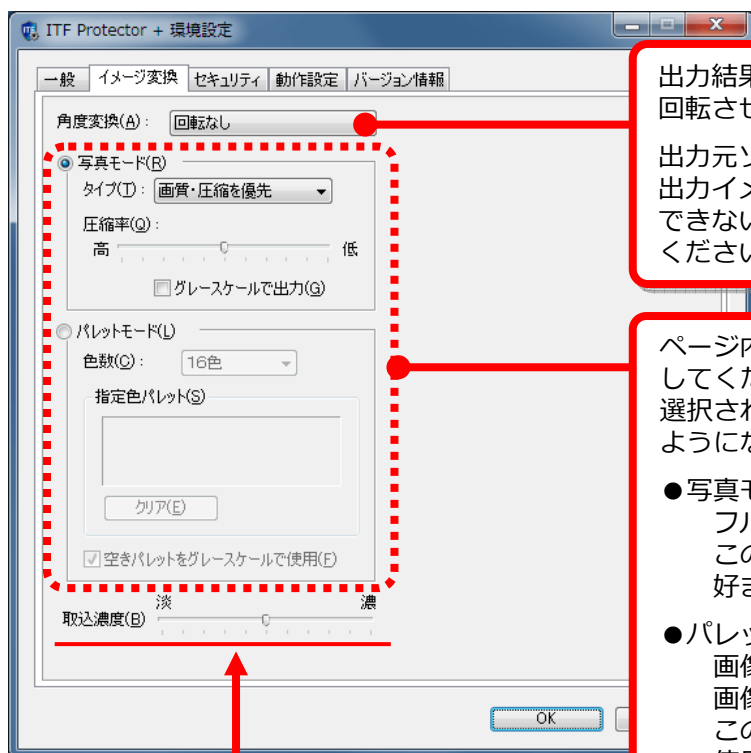
※この機能は、NETセキュリティ (→P.12) との併用が必須です。



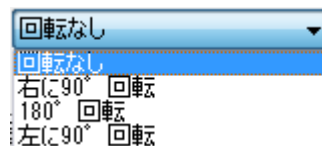
2-3. 環境設定を行う - [イメージ変換] タブ

[イメージ変換] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
この画面では、ITFファイル作成時のイメージ変換に関する初期値を設定します。

解説を参考に、各項目を設定してください。



出力結果を、指定の角度で回転させます。



出力元ソフトウェア側で、出力イメージの縦横指定ができない場合に、ご利用ください。

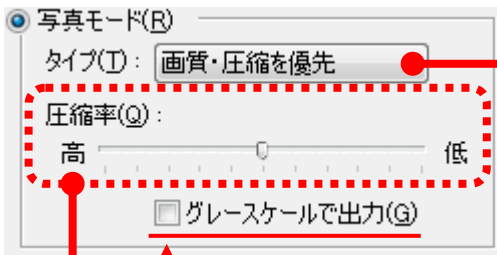
ページ内の画像データの特性に合わせて、モードを選択してください。
選択されたモードに付随する設定項目が、操作できるようになります。

- 写真モード
フルカラーで圧縮します。
このモードは、写真などの減色されることが好ましくないデータに適しています。
- パレットモード
画像内で使用する色を指定して減色することで、画像を圧縮します。
このモードは、文章や設計図、グラフ資料などの使用色数の少ないデータに適しています。

印刷データ、及び画像取り込み時の、色の濃淡を指定します。

色調調整が必要な原稿データを扱うことが多い場合に、ご利用ください。

■写真モードを選択した場合の操作



変換タイプを指定します。

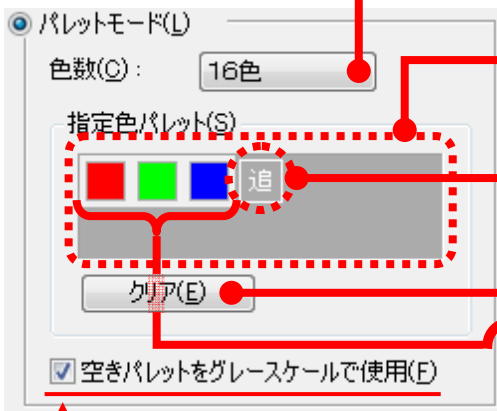
- 画質・圧縮を優先
元画像にもよりますが、概ね「変換速度を優先」タイプより高圧縮なITFファイルが作成できます。また、写真やコントラスト差の高い書類は、より美しく変換することができます。
- 変換速度を優先
圧縮率を上げるほどブロックノイズが発生し易くなりますが、コントラスト差の低いグラフィックデータなどの再現性は高くなります。

画像の圧縮率を指定します。

つまみを左に移動させるほど、データ容量は圧縮されますが、その分画質は劣化します。

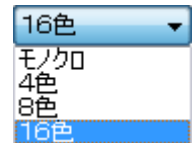
ここにチェックを入れると、画像を256階調のモノクロ画像に変換します。元画像がカラーの場合は、さらにデータ容量を節約できます。

■パレットモードを選択した場合の操作



画像内で使用する色数を設定します。

「モノクロ」を指定した場合、これ以降の項目は設定不能なので、操作できなくなります。



パレット。画像内で使用する色を表示します。

追加ボタン。

画像内で使用する色を、パレットに追加します。白と黒は必ず使用するので、実際に追加できる色は [色数] で指定した色数より2色分少なくなります。

色ボタン。パレットに登録された色を表します。

パレットを消去します。

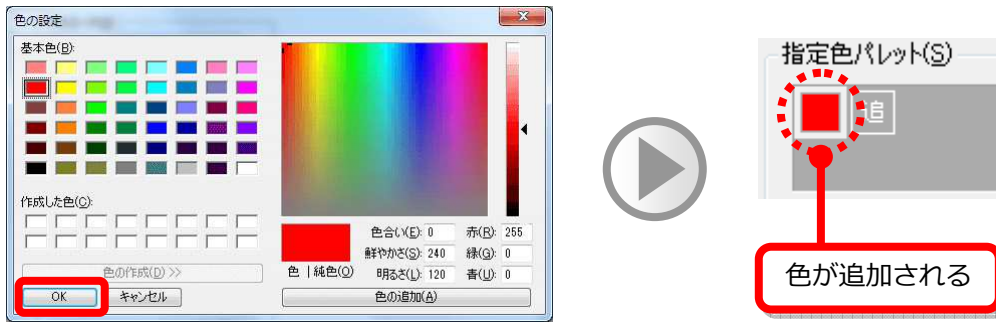
ここにチェックを入れると、余ったパレットをグレースケールに使用します。

例えば [色数] に16色を指定したが、パレットには4色しか登録しなかった場合、余った12色分のパレットは、グレースケールに使用されます。

■パレットに色を追加する

追加ボタンをクリックすると、「色の指定」画面が表示されます。

「色の指定」画面上で、登録したい色を選択して [OK] ボタンをクリックすると、パレットに色が追加されます。

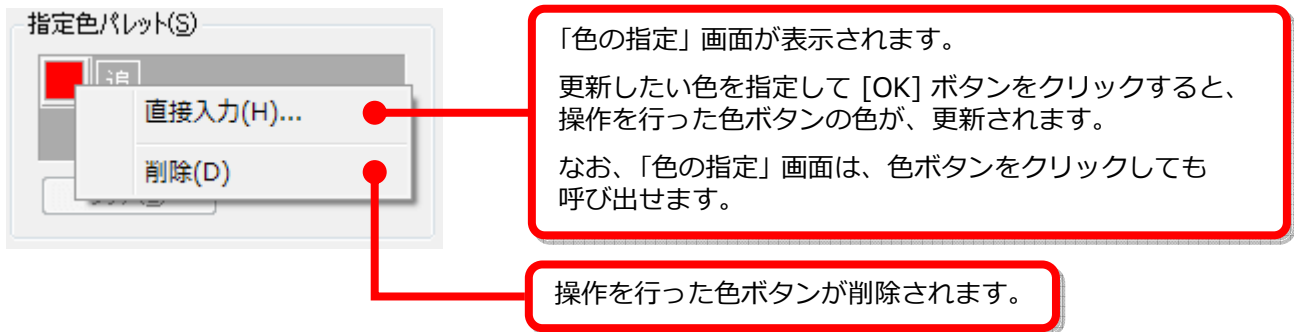


なお、「色の指定」画面は、追加ボタンを右クリックすると表示される、ポップアップメニューの「直接入力」を選択しても、呼び出すことができます。



■パレットの色を変更/削除する

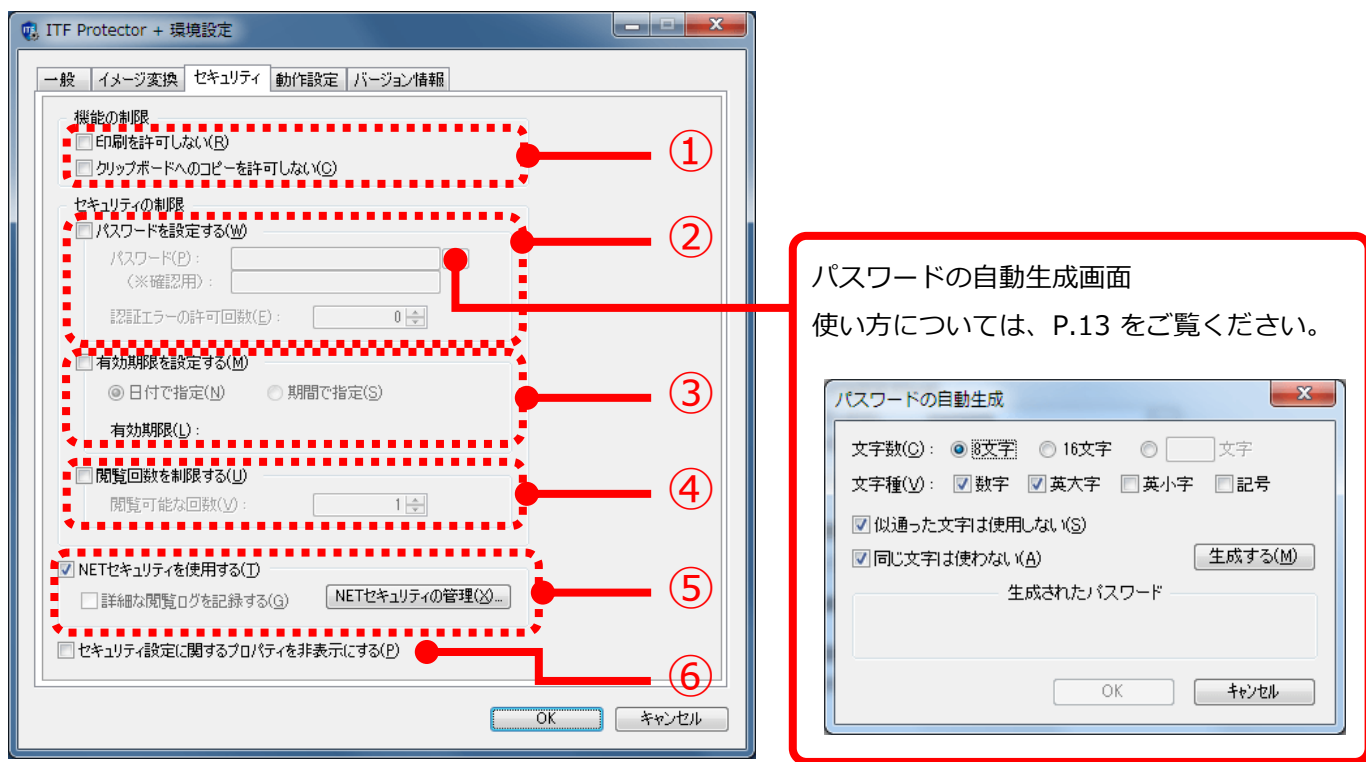
色ボタンを右クリックすると、下のポップアップメニューが表示されます。



2-4. 環境設定を行う - [セキュリティ] タブ

[セキュリティ] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
この画面では、ITFファイルの各種セキュリティ設定の初期値を設定します。

解説を参考に、各項目を設定してください。



① ITF Viewer で閲覧する時の、機能制限を設定します。

- 印刷を許可しない
閲覧者にファイルを印刷させたくない場合は、ここにチェックを入れてください。
- クリップボードへのコピーを許可しない
ファイルの内容を、他のアプリケーションに貼り付けさせたくない場合は、ここにチェックを入れてください。

② ファイル閲覧時の、パスワード認証設定を行います。

認証を求めるには [パスワードを設定する] にチェックを入れ、パスワードを入力してください。
パスワードは、6～32文字の半角英数で設定してください。

また、パスワードの認証失敗に回数制限を設ける場合は、「認証エラーの許可回数」に認証エラーの許容回数 (0は回数制限なし) を指定してください。
認証失敗回数が許容回数を超えると、ファイルが自動削除されます。

③ ファイルの有効期限設定を行います。

有効期限を設定するには [有効期限を設定する] にチェックを入れ、有効期限の指定方法を選択してください。
有効期日を過ぎたファイルは、開こうとした時に自動削除されます。

- 日付で指定
日時を直接指定します。具体的な日時は、ITFファイル作成時に指定します。
なお、初期値はITFファイルの作成日の午後11時59分となります。
- 期間で指定
こちらを選択すると、右の日数入力欄が表示されます。
ファイル作成日から指定日数を加算した日付が、有効期日の初期値になります。



④ ファイルの閲覧回数の制限を設定します。

閲覧回数制限を設けるには [閲覧回数を制限する] にチェックを入れ、許可回数を入力してください。
許容回数は、1～255の範囲で設定してください。

⑤ NETセキュリティの使用を設定します。

NETセキュリティは、セキュリティ設定をWebサーバ上に記録し、より厳格にファイル閲覧者にセキュリティ設定を守らせる機能です。

NETセキュリティを使用するには、[NETセキュリティを使用する] にチェックを入れてください。

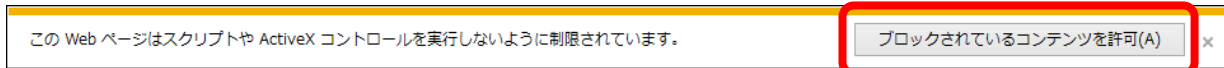
[閲覧ログを記録する] にチェックを入れると、ITFファイル閲覧者に閲覧環境、並びに印刷などの操作情報の提供を求めることができます。

■ Webサーバ上に記録されたセキュリティ設定を管理するには...

[NETセキュリティの管理] ボタンをクリックしてください。

Webブラウザが起動し、NETセキュリティ専用サイトが表示されます。

なお、お使いのWebブラウザによっては、下のような警告メッセージが表示される場合があります。その場合は、「表示を許可する」旨の応答をし、表示を続行してください。



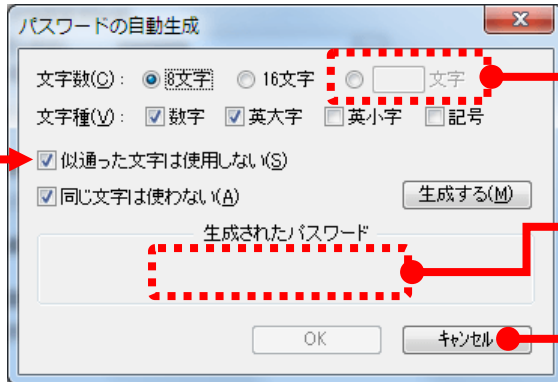
⑥ ここにチェックを入れて作成したITFファイルは、ITF Viewer で閲覧時、右のようにセキュリティに関する設定情報が、公開されなくなります。



■パスワードの自動生成画面について

この画面で、無作為なパスワードを自動生成することができます。

生成規則を指定して [生成する] ボタンをクリックすると、ご指定の規則に則ったパスワードが生成されます。生成されたパスワードを使用する場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。生成されたパスワードが、パスワード入力欄に自動入力されます。



8、16以外の文字数を設定する場合は、ここにチェックを入れ、任意の文字数を入力してください。

[生成する] ボタンをクリックすると、ここに生成されたパスワードが表示されます。

ここにチェックを入れると、「I (大文字のアイ)」や「l (小文字のエル)」など、見間違い易い文字が使用されなくなります。

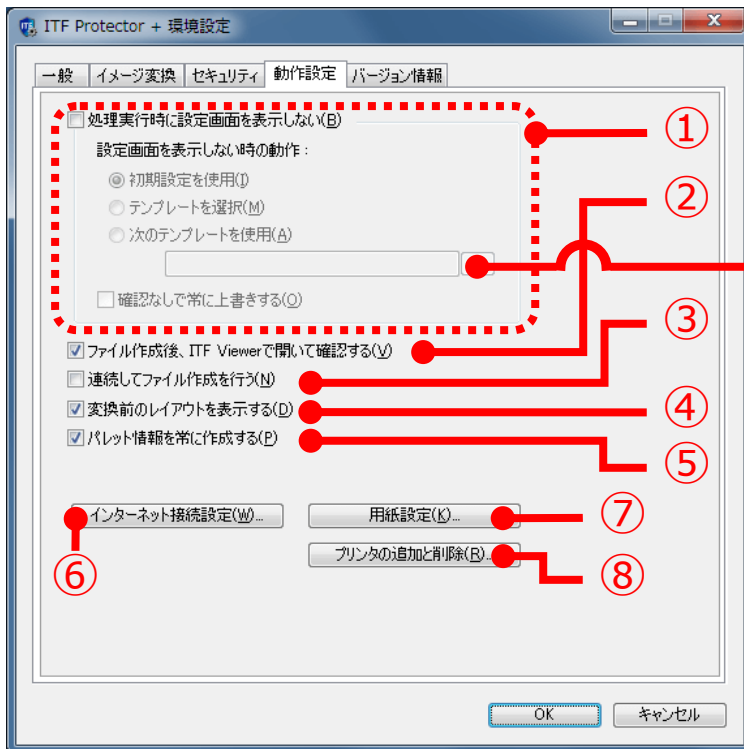
パスワードの生成を中止して、この画面を終了します。

2-5. 環境設定を行う - [動作設定] タブ

[動作設定] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。

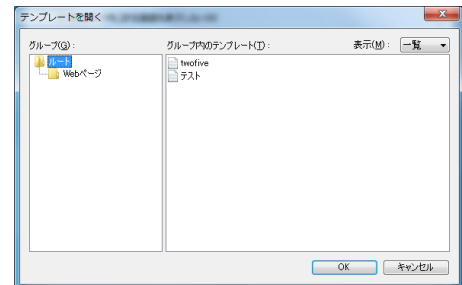
この画面では、ITFファイル作成時の ITF Protector+ の挙動を設定します。

解説を参考に、各項目を設定してください。



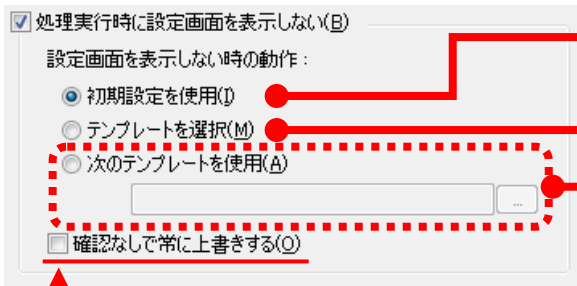
テンプレート選択画面

使い方の詳細については、P.15 をご覧ください。



① ここにチェックを入れると、ITFファイル作成時にファイル設定画面が表示されなくなります。

ファイル設定画面を表示しない場合、ファイル作成時に設定を行えなくなるので、予めどの設定を使用してファイル作成を行うかを指定する必要があります。



環境設定画面で指定した設定を使用します。

環境設定画面の代わりに、テンプレート選択画面を表示し、選択したテンプレートの設定を使用します。

指定した選択したテンプレートの設定を使用します。
 [...] ボタンをクリックすると、テンプレート選択画面が表示されます。
 テンプレート選択画面から、使用するテンプレートを選択してください。

ここにチェックを入れると、出力先に同名のITFファイルがある場合、確認なしに上書き作成します。

② ここにチェックを入れると、作成したファイルをプレビュー表示します。

ITFファイル作成後、ITF Viewer が起動して作成したファイルを表示します。
 このファイル表示は、閲覧回数に含まれません。

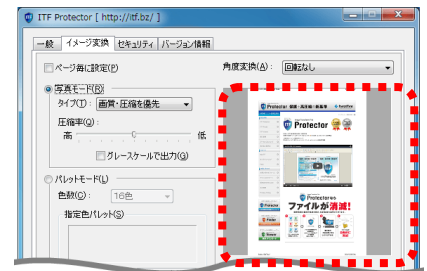
■ご注意

「処理実行時に設定画面を表示しない」にチェックが入っている場合は、本設定の有無に関わらず、ファイル作成後のプレビュー表示は行われません。

③ ここにチェックを入れると、ITFファイルの作成が完了しても、ファイル設定画面が終了しなくなります。

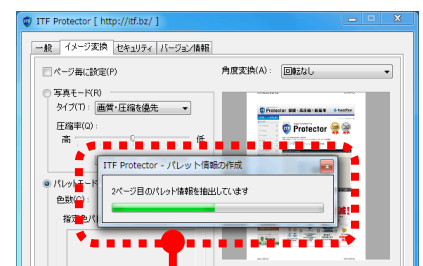
設定を変更しながらITFファイルを作成したい時など、再印刷することなくファイル作成を継続することが可能になります。

④ ここにチェックを入れると、ITFファイル作成時の [イメージ] タブ内に、変換前のレイアウトを表示します。



⑤ ここにチェックを入れると、ITFファイル作成時のデータ抽出の際、パレット情報を必ず作成します。

パレット情報は、「パレットモード」でのイメージ変換に必要な、色のデータです。
 主に「写真モード」を利用する場合は、このチェックを外しておく、パレット情報作成が省かれる分、高速になります。
 なお、本設定によりパレット情報の作成をスキップするように設定されていた場合でも、ファイル作成時にパレット情報が必要になった場合は、自動で必要なパレット情報のみ作成します。



パレット情報が必要になった場合は、自動で作成します。

⑥ インターネットへの接続設定を行います。

ITF Protector+ をご使用いただくには、インターネットへの接続が必要です。
 設定方法については、**3. インターネット接続環境を設定する** (→P.16) をご覧ください。

⑦ ITF Protector+ で使用する、用紙の管理を行います。
 詳しくは、**4. 用紙設定を行う** (→P.17) をご覧ください。

⑧ ITFファイルを生成するための仮想プリンタの管理を行います。
 詳しくは、**5. 仮想プリンタの追加・削除を行う** (→P.19) をご覧ください。

■テンプレート選択画面について

ITF Protector+ では、ITFファイルの作成設定をテンプレート（雛形）として保存し、必要な時に呼び出して利用することができます。

テンプレートの作成方法については、**7. ITFファイル作成時の設定をテンプレート（雛形）化する**（→P.33）をご覧ください。

この画面は、作成済みテンプレートの選択を行います。

使用するテンプレートが保存されているグループを選択してテンプレートを表示し、目的のテンプレートをダブルクリックするか、選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

グループリスト。
テンプレートを格納する、
グループを表示します。

テンプレートリスト。
グループ内に格納されている、
テンプレートを表示します。

テンプレート。

グループ。
グループは階層構造になっています。

テンプレートの選択を中止して、
この画面を終了します。

テンプレートリストの表示形式を変更
します。

- 一覧

グループ内のテンプレートID: 表示(M): 一覧

normal
テスト

- 詳細

グループ内のテンプレートID: 表示(M): 詳細

名前	更新日時	作成日時
normal	2012/08/27 14:37:51	2012/08/27 14:37:51
テスト	2012/08/20 15:01:02	2012/08/20 15:01:02

2-6. 環境設定を行う - [バージョン情報] タブ

[バージョン情報] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。

この画面では、お使いの ITF Protector+ のバージョン確認、並びに手動でのライセンス認証を行えます。

ITF Protector + 環境設定

一般 イメージ変換 セキュリティ 動作設定 **バージョン情報**

ITF Protector + Ver 4.00
Copyright (C) 2009 - 2016 Twofive, Inc.

Development / Sale
Twofive, Inc.

twofive
synthesizing design

シリアルNo. [REDACTED]

ライセンス認証(A) オンラインヘルプを表示(H)

OK キャンセル

ライセンス認証（手動認証）を行います。

ライセンス認証は、最後に認証を行った日から7日経過すると自動で行われますが、ライセンスの認証に失敗した場合は、ITF ファイルを作成できなくなります。

出張などでインターネットに接続できない環境下にPCを持ち出す際は、事前に手動認証を行っておくと、ライセンス認証の失敗によって、ITF Protector+ が使用できなくなる事態を回避できます。

オンラインヘルプ（本書）を表示します。

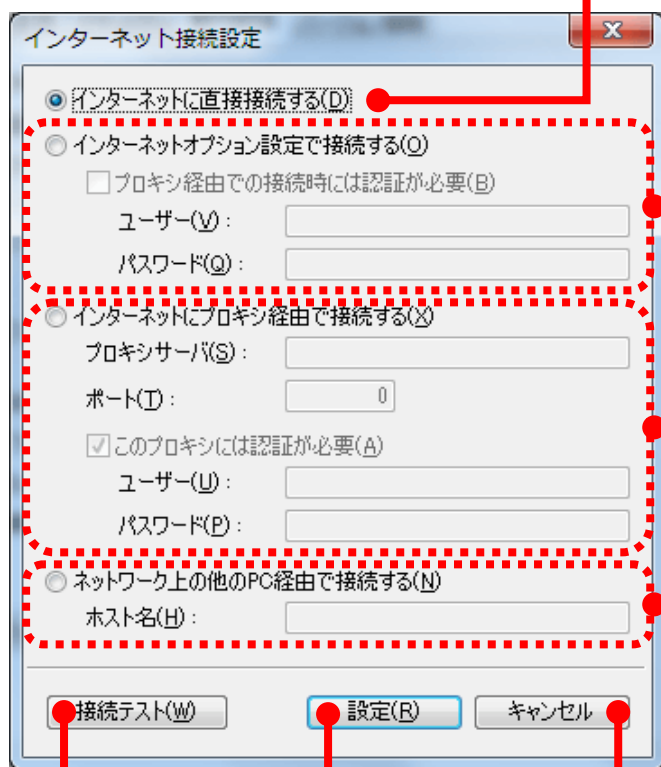
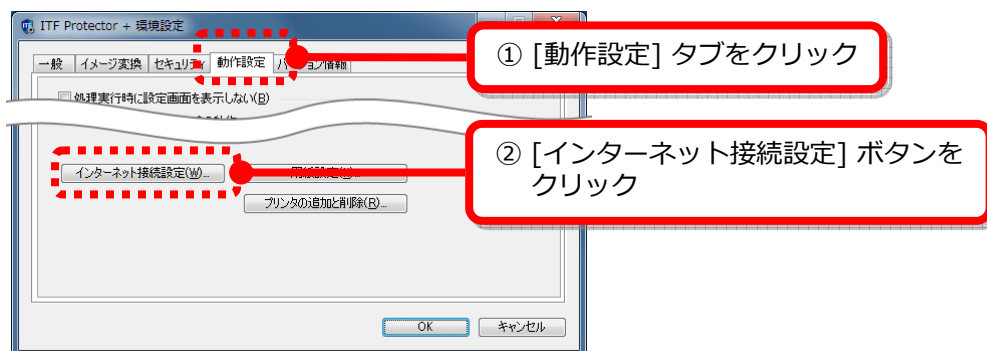
クリックすると、WEBブラウザが起動して、ヘルプページを表示します。インターネットに接続されている必要があります。

3. インターネット接続環境を設定する

ITF Protector+ をご利用になるには、インターネットへの接続が必要です。

もし、お使いのPCがプロキシサーバを介してインターネットに接続されている場合は、ITF Protector+ にもプロキシサーバ設定が必要です。

プロキシサーバをご利用の場合は、次の設定を行ってください。



インターネットに直接接続できる場合は、こちらを選択してください。

Windows のインターネット接続設定を使用する場合は、こちらを選択してください。

プロキシサーバ接続時に認証が必要な場合は、[プロキシ経由での接続時には認証が必要] にチェックを入れ、ユーザーIDとパスワードを入力してください。

プロキシサーバ経由でインターネットに接続している場合は、こちらを選択してプロキシサーバ名 (またはIPアドレス) とポート番号を入力してください。

プロキシサーバ接続時に認証が必要な場合は、[このプロキシには認証が必要] にチェックを入れ、ユーザーIDとパスワードを入力してください。

「License Manager」を介してライセンス認証などを行う場合は、こちらを選択して接続先PC名、またはIPアドレスを入力してください。

画面上の設定で、実際にインターネットに接続できるかをテストします。

設定を適用/保存し、この画面を終了します。

設定を反映せず、この画面を終了します。

■ License Manager について

License Manager は、ネットワーク (LAN、またはWAN) 上のインターネットに接続できるPCにサービスとして常駐し、ネットワーク上のインターネットへの接続が禁止されているPCでお使いの弊社ライセンス製品に対し、インターネット接続が必要な処理を代行して行う、中継プログラムです。

License Manager は、My ITF より無料でダウンロードしていただけます。

4. 用紙設定を行う

ITF Protector+ で使用する用紙の設定を行うには、次の操作を行なってください。
なお、この操作を行うには、管理者権限でのログインが必要です。



※この画面を表示する際、「ユーザーアカウント制御」による許可を求められます。「はい」または「続行」で応答し、続行してください。

用紙名	サイズ	単...
<input type="checkbox"/> 10x11 インチ	254.000 x 279.400	mm
<input type="checkbox"/> 10x14 インチ	254.000 x 355.600	mm
<input type="checkbox"/> 11x17 インチ	279.400 x 431.800	mm
<input type="checkbox"/> 12x11 インチ	304.932 x 279.521	mm
<input type="checkbox"/> 15x11 インチ	381.000 x 279.400	mm
<input type="checkbox"/> 6 3/4 Envelope	92.075 x 165.100	mm
<input type="checkbox"/> 9x11 インチ	228.600 x 279.400	mm
<input checked="" type="checkbox"/> A0	841.000 x 1189.000	mm
<input checked="" type="checkbox"/> A1	594.000 x 841.000	mm
<input checked="" type="checkbox"/> A2	420.000 x 594.000	mm
<input checked="" type="checkbox"/> A2 横	594.000 x 420.000	mm
<input checked="" type="checkbox"/> A3	297.000 x 420.000	mm
<input type="checkbox"/> A3 Extra	322.000 x 445.000	mm
<input type="checkbox"/> A3 Extra Transverse	322.000 x 445.000	mm
<input type="checkbox"/> A3 Transverse	297.000 x 420.000	mm

ITF Protector+ で使用する用紙を設定します。
ここでは、お使いのPCに登録されている用紙が一覧表示されます。
ITF Protector+ で使用したい用紙にチェックを入れてください。

用紙を追加登録します。

登録済み用紙を編集します。

登録済み用紙を削除します。

この画面を終了します。

行った用紙設定の編集 (追加や変更、削除) を、PCに反映させます。
確認メッセージが表示されるので、
[OK] ボタンをクリックして編集を適用してください。

行った用紙設定の編集を取り消し、編集前の状態に復元します。
確認メッセージが表示されるので、
[OK] ボタンをクリックして編集をリセットしてください。

用紙設定をTSV (タブ区切り) ファイルとして出力します。

TSVファイルで出力された用紙設定データを取り込みます。

■用紙を登録する

[追加] ボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。
用紙名、及び用紙サイズを設定して、[OK] ボタンをクリックしてください。

追加する用紙名を入力します。

任意の名称を入力することも可能ですが、▼をクリックすると、代表的な用紙名がドロップダウンされます。そこから選択すると、選択した用紙名に対応した用紙サイズが自動補完されます。
なお、既に登録されている用紙と、同じ名称の用紙は登録できません。


用紙の大きさを設定します。

単位毎の用紙幅、並びに用紙の高さは、下記の範囲で指定してください。

単位	値の範囲
mm	10 ~ 1524
Inchi	0.394 ~ 60

■登録済み用紙を編集する

リストから編集を行う用紙を選択して [編集] ボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。
新しい用紙サイズを設定して、[OK] ボタンをクリックしてください。
用紙名は、変更できません。

なお、リスト上で  のついた用紙は、Windows が定義している用紙です。
この用紙については、編集できません。


用紙の大きさを設定します。

単位毎の用紙幅、並びに用紙の高さは、下記の範囲で指定してください。

単位	値の範囲
mm	10 ~ 1524
Inchi	0.394 ~ 60

■登録済み用紙を削除する

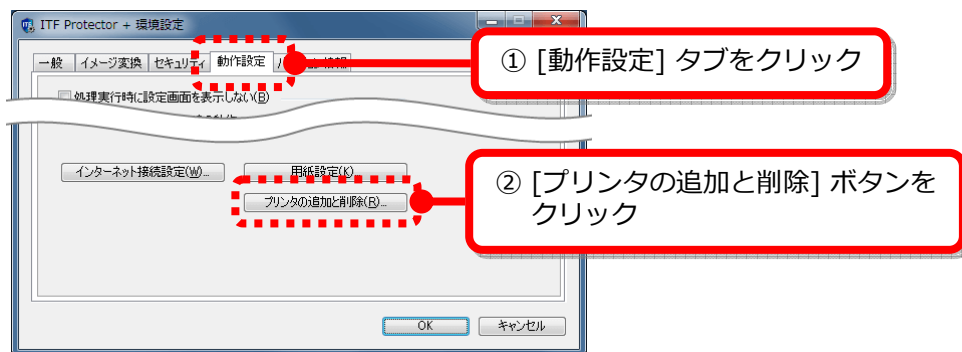
リストから削除したい用紙を選択して [削除] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。
削除を続行するには、メッセージの [OK] ボタンをクリックしてください。

なお、リスト上で  のついた用紙は、Windows が定義している用紙です。
この用紙については、削除できません。

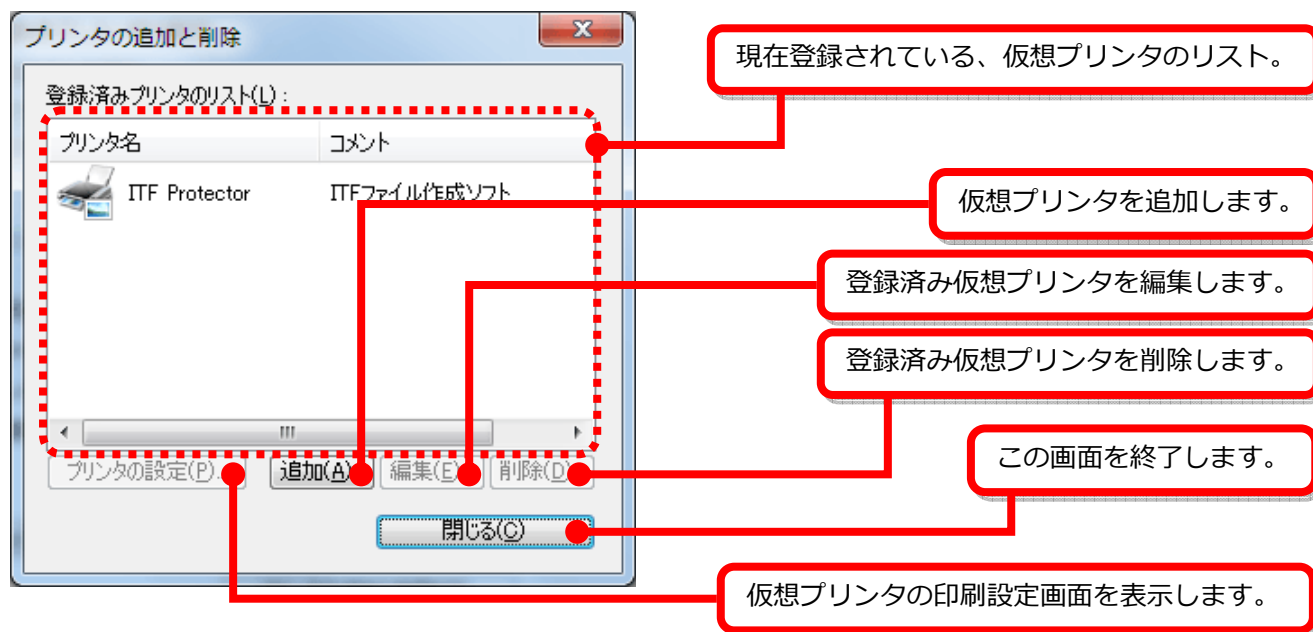
5. 仮想プリンタの追加・削除を行う

ITF Protector+ をインストールすると、ITFファイルを生成するための仮想プリンタが登録されます。この仮想プリンタは複数登録することができ、プリンタ毎に異なる出力解像度などを設定することが可能です。

仮想プリンタを追加登録、または削除するには、以下の操作を行ってください。なお、この操作を行うには、管理者権限でのログオンが必要です。

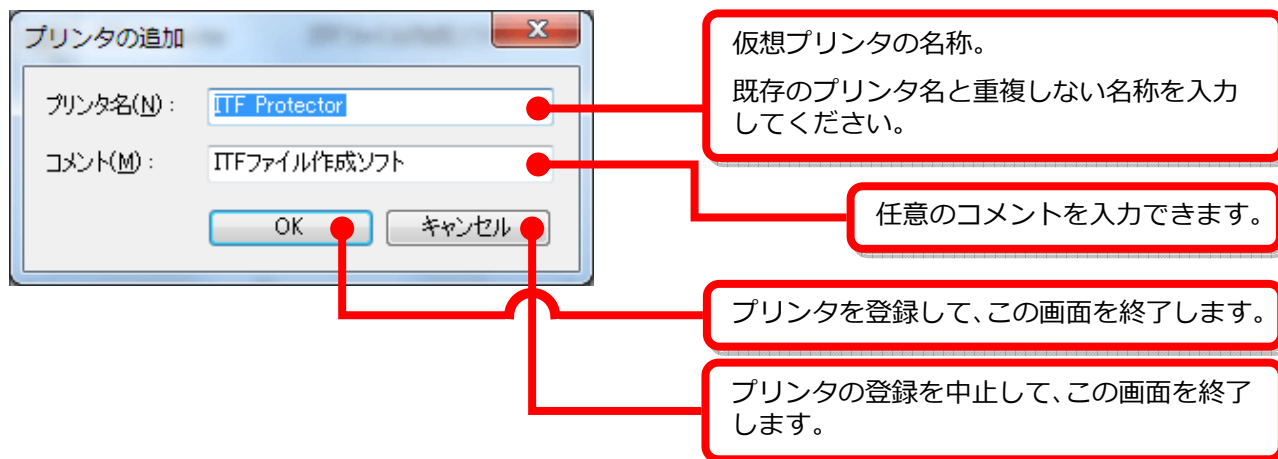


※この画面を表示する際、「ユーザーアカウント制御」による許可を求められます。「はい」または「続行」で応答し、続行してください。



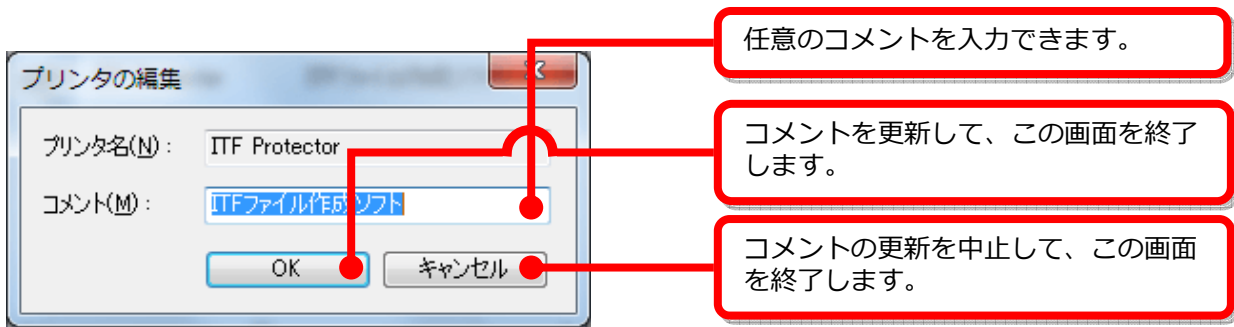
■プリンタを追加する

[追加] ボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。プリンタ名と、必要に応じてコメントを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。



■登録済みプリンタを編集する

リストから編集を行うプリンタを選択して [編集] ボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。新しいコメントを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。プリンタ名を変更することはできません。



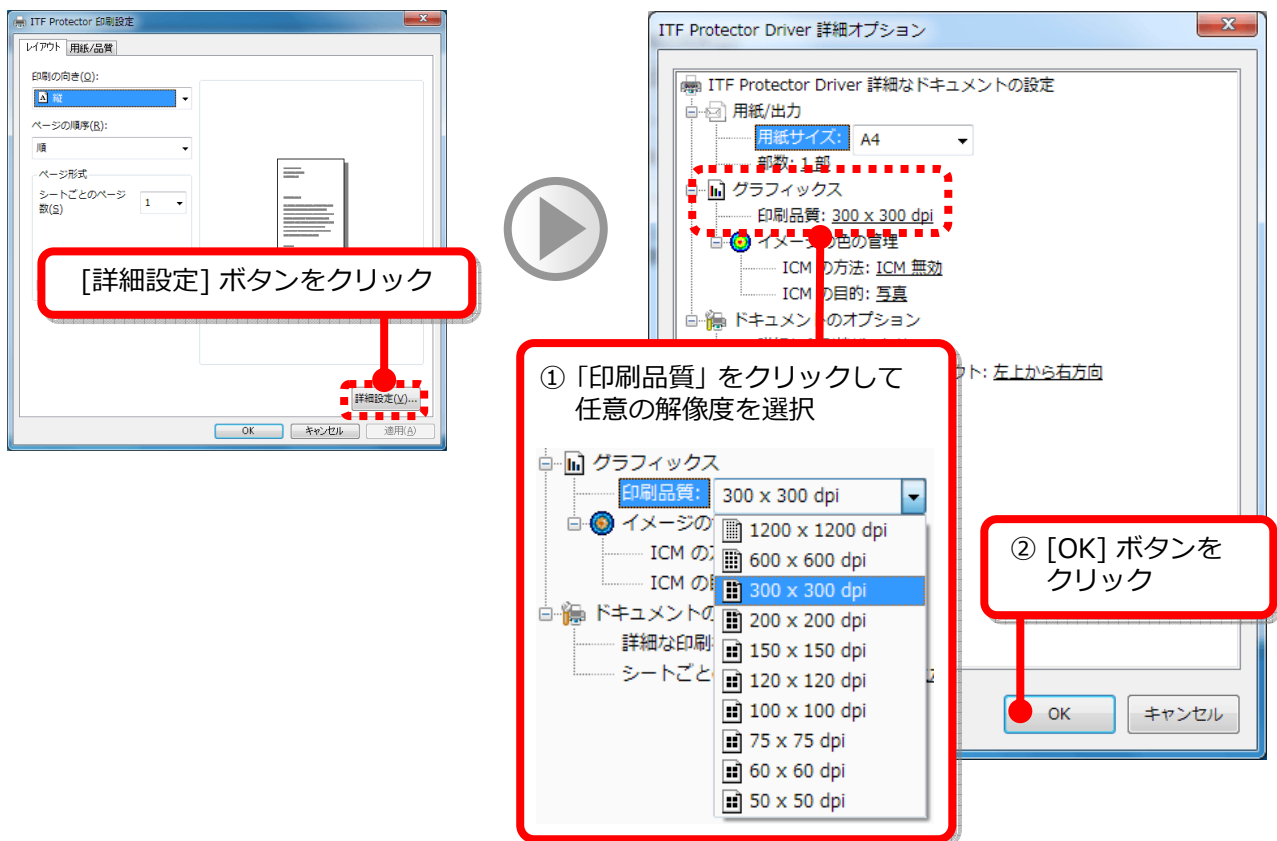
■登録済みプリンタを削除する

リストから削除したいプリンタを選択して [削除] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、メッセージの [OK] ボタンをクリックしてください。

■プリンタの既存解像度などを変更する

リストから変更したいプリンタを選択して [プリンタの設定] ボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。この画面にて、ITFファイル作成時の既定解像度などを変更することができます。

●例：既存解像度を変更する



■仮想プリンタについて

Windows の「デバイスとプリンタ」画面にて、ITF Protector+ の仮想プリンタを削除すると、仮想プリンタの追加 (再登録) ができなくなります。仮想プリンタの削除は、ITF Protector+ を介して行ってください。

また、仮想プリンタの動作が不安定になった場合は、ITF Protector+ を一旦アンインストールして、再度インストールし直してください。

6. ITFファイルを作成する

ITF Protector+ では、さまざまな方法でITFファイルを作成することができます。

6-1. 仮想プリンタからITFファイルを作成する

ITF Protector+ は、印刷機能のあるアプリケーションの印刷機能と連動して、動作します。

ITFファイルを作成するには、元データをオープンできるアプリケーションの「印刷」コマンド (使用するプリンタを選択できるもの) を実行して、プリンタの一覧から仮想プリンタを選択してください。

仮想プリンタについては、**5. 仮想プリンタの追加・削除を行う** (→P.19) をご覧ください。

●例 : Microsoft Word 2003 の場合



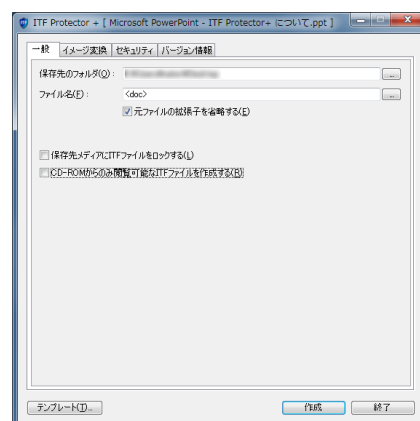
ITF Protector+ の仮想プリンタで印刷を行うと、右の画面が表示されます。

ITFファイルの生成に必要なデータの抽出を行っています。
ITFファイルの作成を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



データの抽出処理が完了すると、右のファイル設定画面が表示されます。

※2-5. 環境設定を行う - [動作設定] タブ (→P.13) で
[処理実行時に設定画面を表示しない] にチェックを入れている場合は、
この画面は表示されません。



6-2. ファイルを開かずにITFファイルを作成する

JPEGなどの画像ファイル、並びにPDF (※) や Microsoft Word などの一部のドキュメントファイルについては、ファイルを開くことなく、ITFファイルを作成することができます。

※PDFファイルの変換には、Adobe Reader のインストールが必要です。

作成元ファイルを右クリックして、ポップアップメニューから [ITFファイルに変換] を選択してください。



■ 本機能に対応するファイルについて

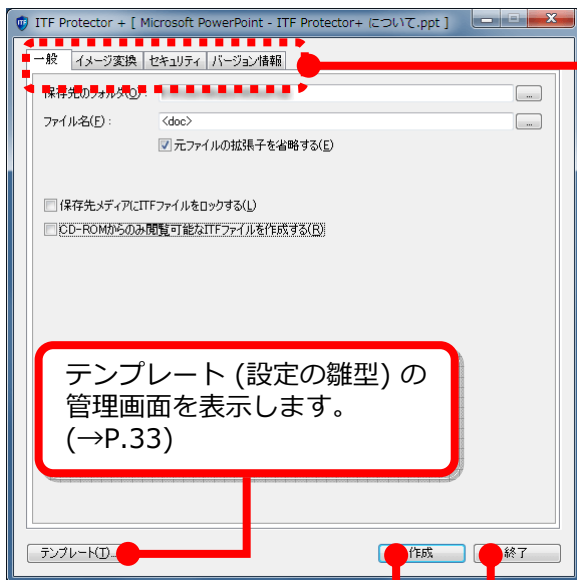
画像ファイルについては、以下のものが対象です。

Jpeg, ビットマップ, Ping, Jpeg2000, Tiff, Gif

また、本機能はMicrosoft社準拠のプリンタ指定印刷コマンド「PrintTo」を使用しており、変換元のファイルに関連付いている、アプリケーションの仕様に従います。

6-3. ITF Protector+ ITFファイル設定画面

この画面では、ITFファイル作成に関する設定を行います。



設定項目カテゴリータブ

各設定項目は、カテゴリー毎に分類されています。各タブをクリックすると、タブに対応した項目の設定ページに切り替わります。

- [一般] タブ
ファイルの作成場所や、ファイル名についての設定を行います。(→P.23)
- [イメージ変換] タブ
画像変換処理についての設定を行います。(→P.24)
- [セキュリティ] タブ
ファイルのセキュリティについての設定を行います。(→P.29)
- [バージョン情報] タブ
ITF Protector+ のバージョン情報を表示します。(→P.31)

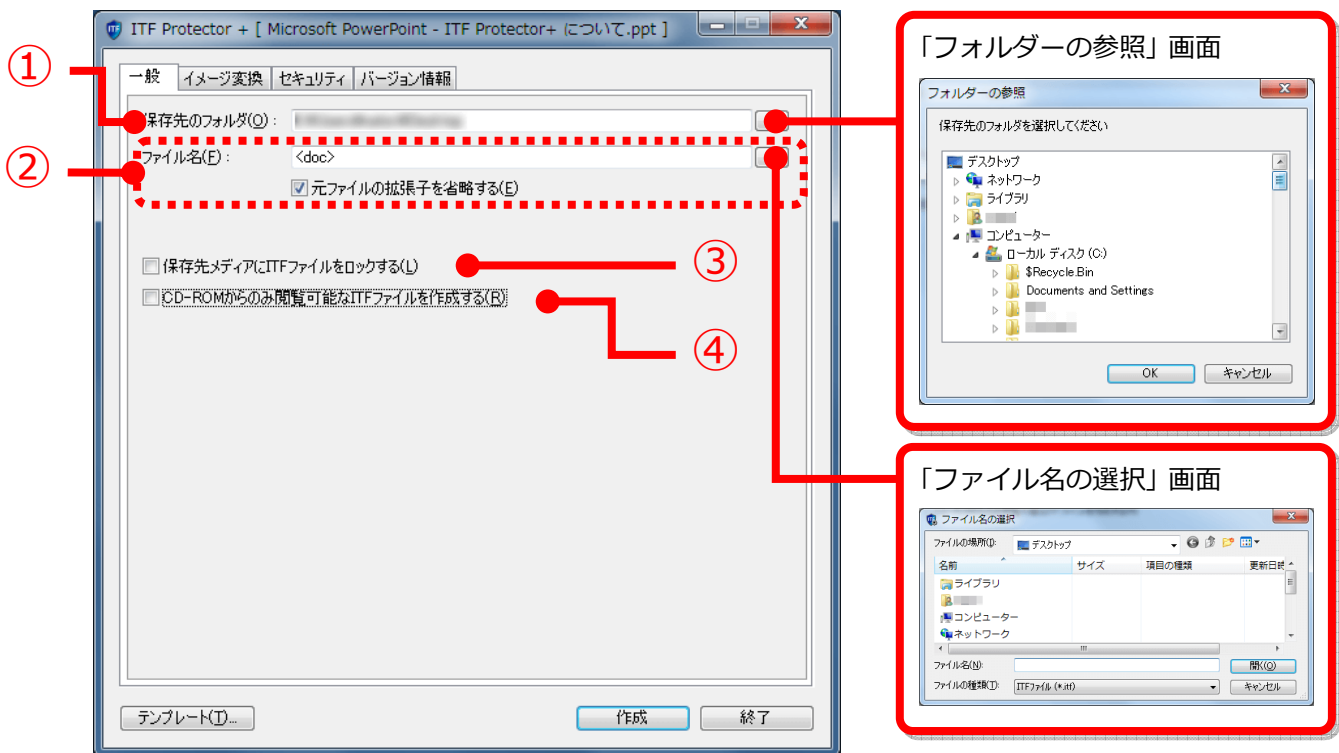
ITFファイルの作成を開始します。(→P.32)

ITFファイルの作成を中止して、終了します。

6-4. ITFファイルの設定を行う - [一般] タブ

[一般] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
この画面では、ITFファイルのファイル出力に関する設定を行います。

解説を参考に、各項目を設定してください。



① ITFファイルの保存先を指定します。
[...] ボタンをクリックして、「フォルダーの参照」画面から選択入力することもできます。

② ITFファイルの名前を、任意に指定します。
ファイル名には、次の置換文字列を使用することもできます。

- <ymd> ファイルの作成日付 (年月日) に置換されます。
- <hms> ファイルの作成時刻 (時分秒) に置換されます。
- <doc> 元データのファイル名に置換されます。
「元ファイルの拡張子を省略する」にチェックを入れると、拡張子を取り除いた名称で置換されます。

■ 置換文字列の使用例

下の設定の場合は、「あいう20150401えお」となります。(※2015年4月1日に作成時)

ファイル名(E): あいう<ymd>えお

③ ここにチェックを入れて作成したITFファイルは、作成した出力先媒体 (ハードディスクやUSBメモリ) の外では、閲覧できなくなります。

※この機能は、④の「CD-ROMからのみ閲覧可能なITFファイルを作成する」との併用はできません。



- ④ ここにチェックを入れて作成したITFファイルは、CD-R/RW、またはDVD-R/RWに記録された状態でないと閲覧できなくなります。

※この機能は、NETセキュリティ (→P.30) との併用が必須です。



6-5. ITFファイルの設定を行う - [イメージ変換] タブ

[イメージ変換] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。この画面では、イメージ変換に関する設定を行います。

解説を参考に、各項目を設定してください。

ページ別に設定を行う場合は、ここにチェックを入れてください。ページ別設定用の操作項目が、追加表示されます。

※全てのページに同じ設定を使用する場合は、チェックを外してください。

出力結果を、指定の角度で回転させます。

出力元ソフトウェア側で、出カイメージの縦横指定ができない場合に、ご利用ください。

ページ内の画像データの特性に合わせて、モードを選択してください。選択されたモードに付随する設定項目が、操作できるようになります。

- 写真モード
フルカラーで圧縮します。このモードは、写真などの減色されることが好ましくないデータに適しています。
- パレットモード
画像内で使用する色を指定して減色することで、画像を圧縮します。このモードは、文章や設計図、グラフ資料などの使用色数の少ないデータに適しています。

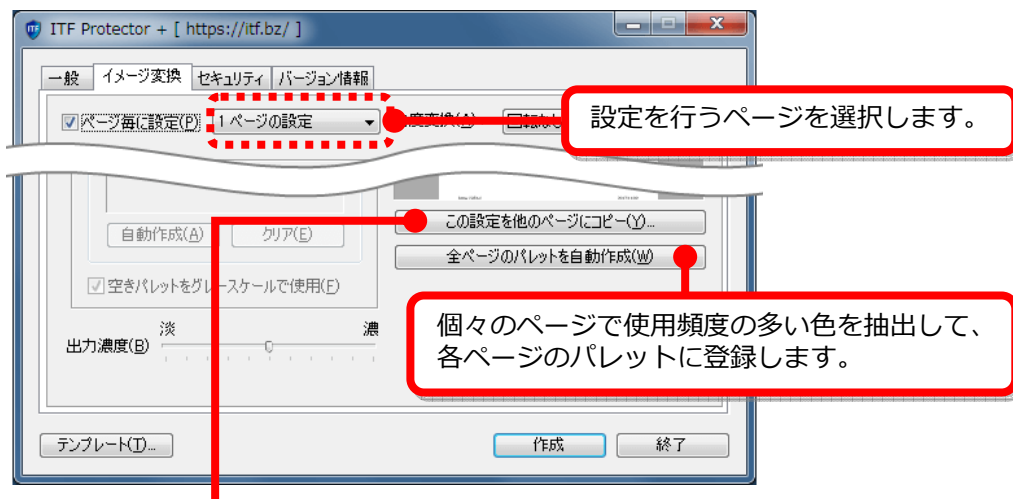
出力結果 (ITFファイル) の、色の濃淡を指定します。

出力結果の色調に調整が必要な場合に、ご利用ください。右の「変換前レイアウト表示 (※)」で、大まかな色調の変化を確認できます。

※表示させるには、環境設定画面にて「変換前のレイアウトを表示する」にチェックを入れておく必要があります。(→P.14)

■ページ別に設定を行う

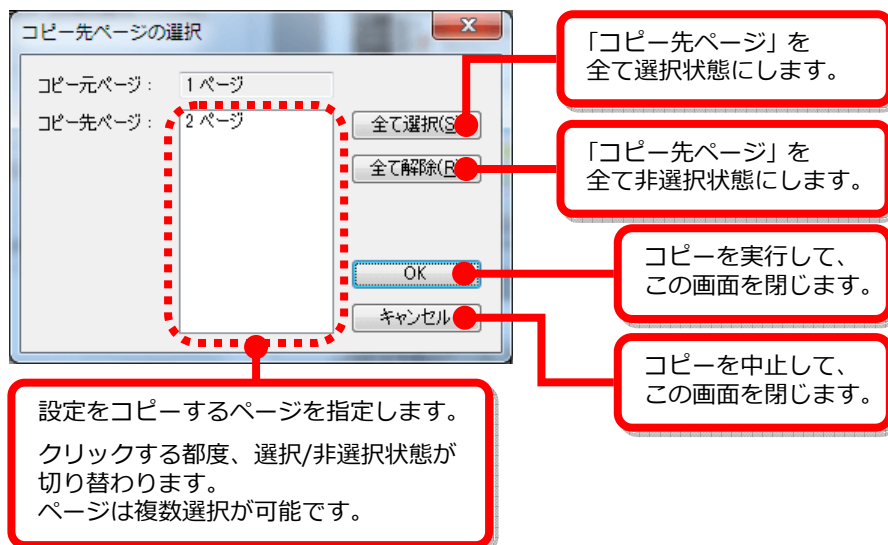
[ページ毎に設定] にチェックを入れると、複数ページ設定用の項目が追加表示されます。



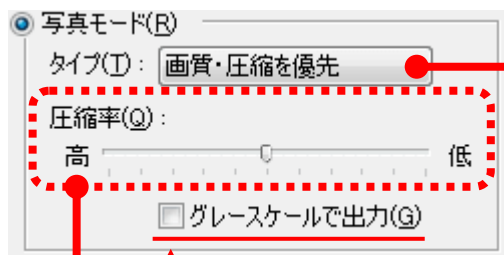
現在表示しているページの設定を、他のページにコピーします。

このボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。

設定をコピーするページを選択して、[OK] ボタンをクリックしてください。



■写真モードを選択した場合の操作



変換タイプを指定します。

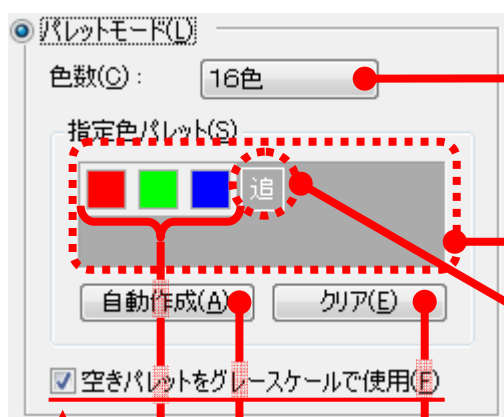
- 画質・圧縮を優先
元画像にもよりますが、概ね「変換速度を優先」タイプより高圧縮なITFファイルが作成できます。また、写真やコントラスト差の高い書類は、より美しく変換することができます。
- 変換速度を優先
圧縮率を上げるほどブロックノイズが発生し易くなりますが、コントラスト差の低いグラフィックデータなどの再現性は高くなります。

画像の圧縮率を指定します。

つまみを左に移動させるほど、データ容量は圧縮されますが、その分画質は劣化します。

ここにチェックを入れると、画像を256階調のモノクロ画像に変換します。元画像がカラーの場合は、さらにデータ容量を節約できます。

■パレットモードを選択した場合の操作



画像内で使用する色数を設定します。

「モノクロ」を指定した場合、これ以降の項目は設定不能なので、操作できなくなります。



パレット。画像内で使用する色を表示します。

追加ボタン。

画像内で使用する色を、パレットに追加します。白と黒は必ず使用するのので、実際に追加できる色は [色数] で指定した色数より2色分少なくなります。

色ボタン。パレットに登録された色を表示します。

使用頻度の多い色を抽出して、自動的にパレットに登録します。
※ページが複数あり、全ページに同じ設定を使用する場合は、1ページ目の情報が使用されます。

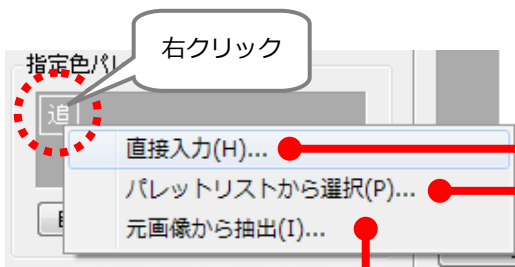
パレットを消去します。

ここにチェックを入れると、余ったパレットをグレースケールに使用します。

例えば [色数] に16色を指定したが、パレットには4色しか登録しなかった場合、余った12色分のパレットは、グレースケールに使用されます。

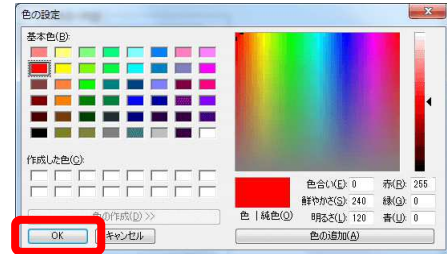
■パレットに色を追加する

追加ボタンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
状況に応じて、それぞれの色の追加方法をご利用ください。



「色の指定」画面が表示されます。

「色の指定」画面上で、登録したい色を選択して [OK] ボタンをクリックすると、パレットに色が追加されます。



※「色の指定」画面は、追加ボタンをクリックしても、表示されます。

下の画面が表示されます。

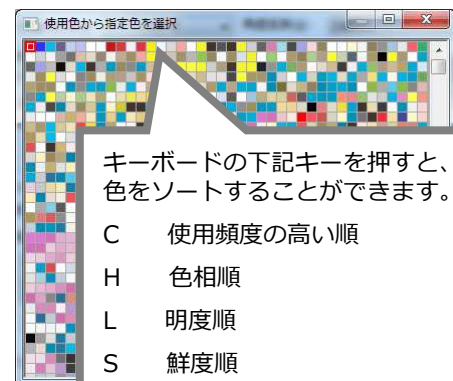
現在処理しているページ(★)が、拡大表示されます。
ここから登録したい色をダブルクリックすると、パレットに色が追加されます。



現在、拡大表示している部分。
マウスでドラッグすると、移動することができます。

下の画面が表示されます。

この画面には、現在処理しているページ(★)で使用されている色が一覧表示されます。
ここから登録したい色をダブルクリックすると、パレットに色が追加されます。



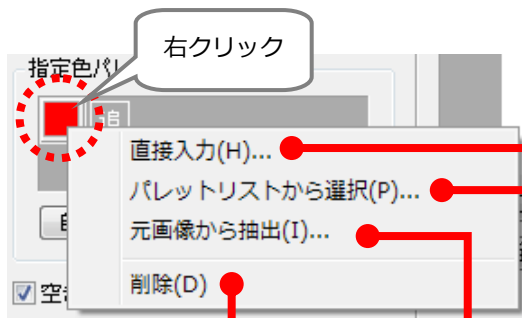
キーボードの下記キーを押すと、色をソートすることができます。

- C 使用頻度の高い順
- H 色相順
- L 明度順
- S 鮮度順
- R 赤の要素が強い順
- G 緑の要素が強い順
- B 青の要素が強い順

★全ページに同じ設定を使用する場合は、1ページ目の情報が使用されます。

■パレットの色を変更/削除する

色ボタンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。状況に応じて、それぞれの色の追加方法をご利用ください。



この色ボタンを削除します。

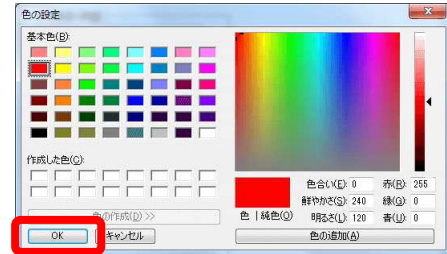
下の画面が表示されます。

この画面は、現在処理しているページ(★)を拡大表示します。ここから登録したい色をダブルクリックすると、色ボタンが更新されます。



「色の指定」画面が表示されます。

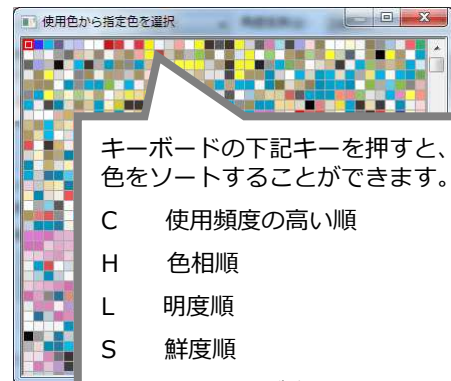
「色の指定」画面上で、登録したい色を選択して [OK] ボタンをクリックすると、色ボタンが更新されます。



※「色の指定」画面は、色ボタンをクリックしても、表示されます。

下の画面が表示されます。

この画面には、現在処理しているページ(★)で使用されている色が一覧表示されます。ここから登録したい色をダブルクリックすると、色ボタンが更新されます。



キーボードの下記キーを押すと、色をソートすることができます。

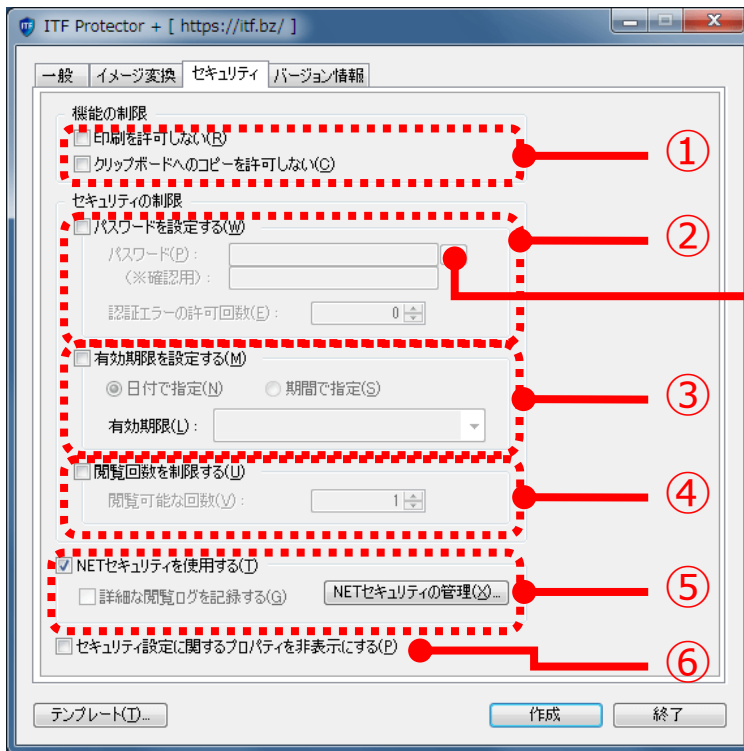
- C 使用頻度の高い順
- H 色相順
- L 明度順
- S 鮮度順
- R 赤の要素が強い順
- G 緑の要素が強い順
- B 青の要素が強い順

★全ページに同じ設定を使用する場合は、1ページ目の情報が使用されます。

6-6. ITFファイルの設定を行う - [セキュリティ] タブ

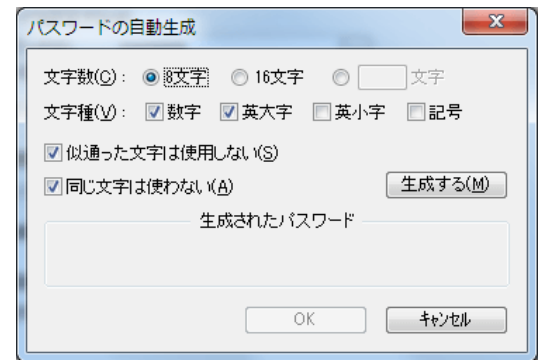
[セキュリティ] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
この画面では、ITFファイルの各種セキュリティを設定します。

解説を参考に、各項目を設定してください。



パスワードの自動生成画面

使い方については、P.31 をご覧ください。



① ITF Viewer で閲覧する時の、機能制限を設定します。

- 印刷を許可しない
閲覧者にファイルを印刷させたくない場合は、ここにチェックを入れてください。
- クリップボードへのコピーを許可しない
ファイルの内容を、他のアプリケーションに貼り付けさせたくない場合は、ここにチェックを入れてください。

② ファイル閲覧時の、パスワード認証設定を行います。

認証を求めるには [パスワードを設定する] にチェックを入れ、パスワードを入力してください。
パスワードは、6～32文字の半角英数で設定してください。

また、パスワードの認証失敗に回数制限を設ける場合は、「認証エラーの許可回数」に認証エラーの許容回数
(0は回数制限なし) を指定してください。

認証失敗回数が許容回数を超えると、ファイルが自動削除されます。

③ ファイルの有効期限設定を行います。

有効期限を設定するには [有効期限を設定する] にチェックを入れ、有効期限の指定方法を選択してください。
有効期日を過ぎたファイルは、開こうとした時に自動削除されます。

●日付で指定

有効期限 (指定日時まで閲覧可能) を直接入力するか、▼をクリックすると表示される、カレンダーから日時を選択してください。



● 期間で指定

こちらを選択すると、下の日数入力欄が表示されます。
ファイル作成日を基点とする、有効期間 (日数) を入力してください。

④ ファイルの閲覧回数の制限を設定します。

閲覧回数制限を設けるには [閲覧回数を制限する] にチェックを入れ、許容回数を入力してください。

⑤ NETセキュリティの使用を設定します。

NETセキュリティは、セキュリティ設定をWebサーバ上に記録し、より厳格にファイル閲覧者にセキュリティ設定を知らせる機能です。

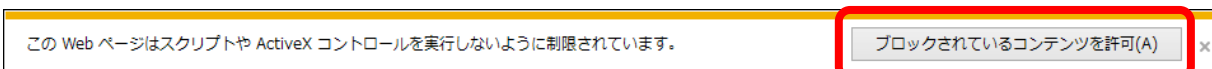
NETセキュリティを使用するには、[NETセキュリティを使用する] にチェックを入れてください。

[閲覧ログを記録する] にチェックを入れると、ITFファイル閲覧者に閲覧環境、並びに印刷などの操作情報を提供を求めることができます。

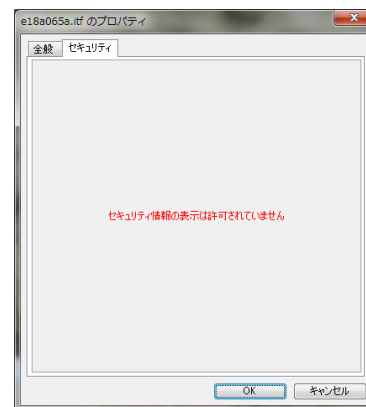
■ Webサーバ上に記録されたセキュリティ設定を管理するには...

[NETセキュリティの管理] ボタンをクリックしてください。
ブラウザが起動し、NETセキュリティ専用サイトが表示されます。

なお、お使いのブラウザによっては、下のような警告メッセージが表示される場合があります。
その場合は、「表示を許可する」旨の応答をし、表示を続行してください。



⑥ ここにチェックを入れて作成したITFファイルは、ITF Viewer で閲覧時、右のようにセキュリティに関する設定情報が、公開されなくなります。

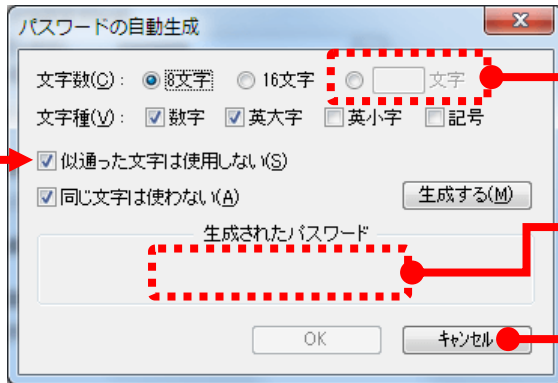


■パスワードの自動生成画面について

この画面で、無作為なパスワードを自動生成することができます。

生成規則を指定して [生成する] ボタンをクリックすると、ご指定の規則に則ったパスワードが生成されます。生成されたパスワードを使用する場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

生成されたパスワードが、パスワード入力欄に自動入力されます。



8、16以外の文字数を設定する場合は、ここにチェックを入れ、任意の文字数を入力してください。

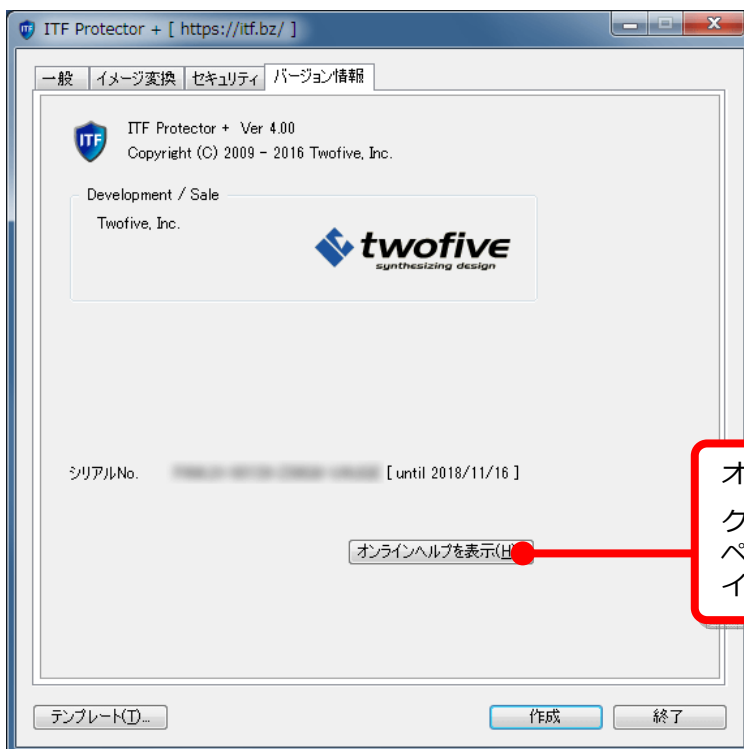
[生成する] ボタンをクリックすると、ここに生成されたパスワードが表示されます。

ここにチェックを入れると、「I (大文字のアイ)」や「l (小文字のエル)」など、見間違いやすい文字が使用されなくなります。

パスワードの生成を中止して、この画面を終了します。

6-7. ヘルプを見る - [バージョン情報] タブ

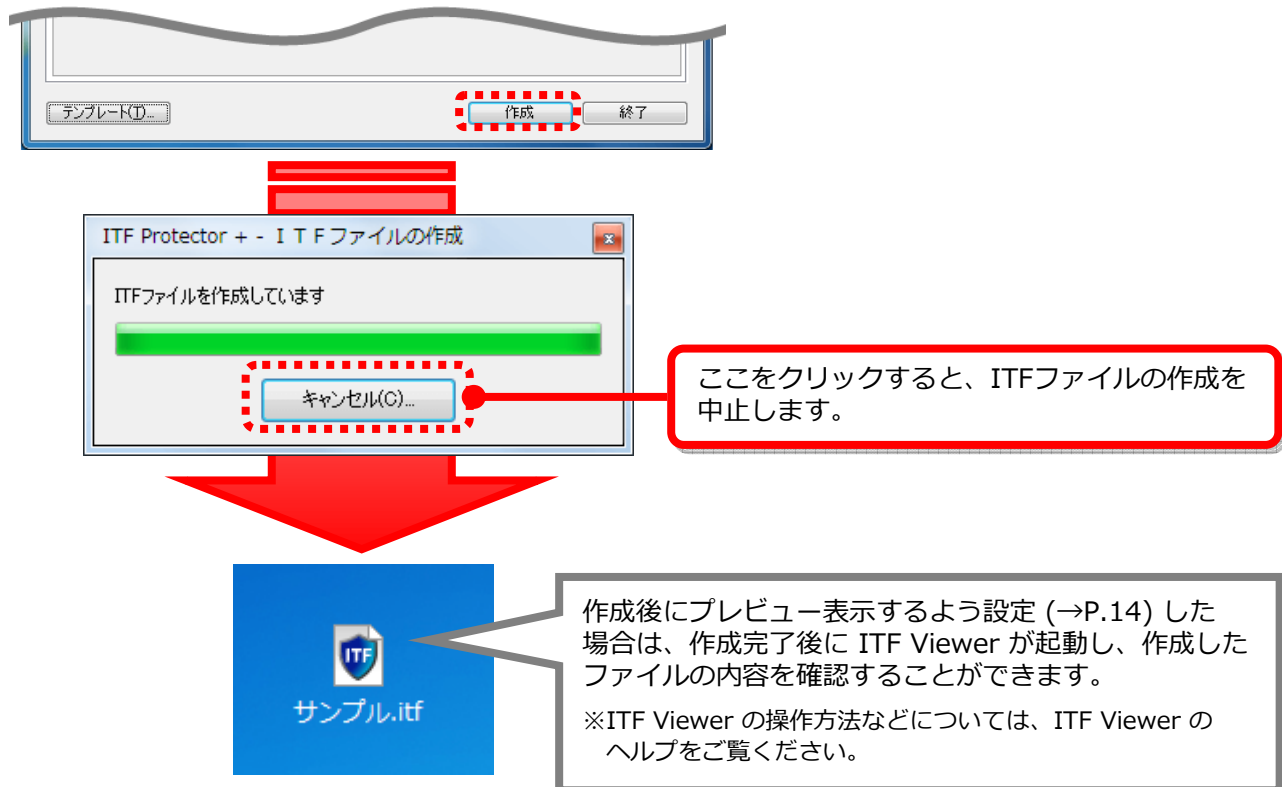
[バージョン情報] タブをクリックすると、下の画面が表示されます。この画面から、オンラインヘルプ (本書) を閲覧することができます。



オンラインヘルプ (本書) を表示します。クリックすると、WEBブラウザが起動してヘルプページを表示します。インターネットに接続されている必要があります。

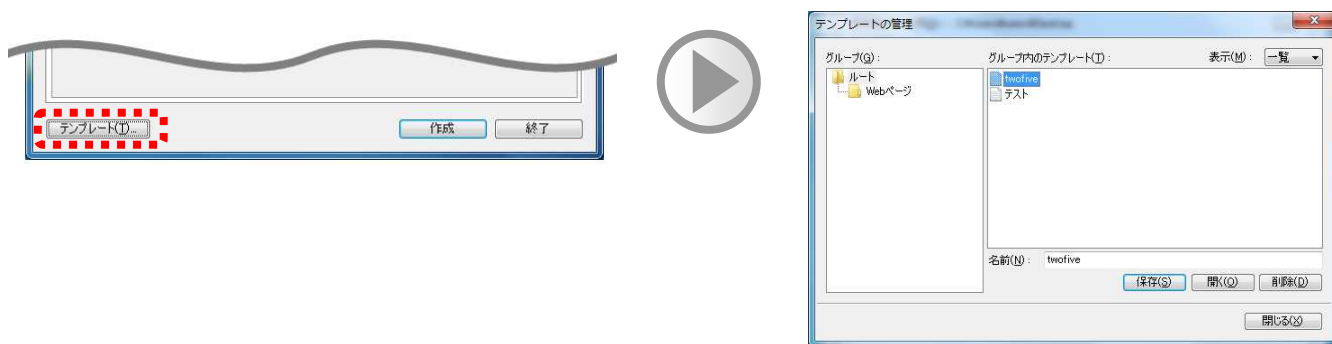
6-8. ITFファイルを出力する

各タブでの設定が完了しましたら、[作成] ボタンをクリックしてください。ITFファイルの作成処理が開始されます。



7. ITFファイル作成時の設定をテンプレート (雛形) 化する

ITF Protector+ では、ITFファイル作成時の設定を、テンプレート (雛型) として保存することができます。ファイル設定画面下部の [テンプレート] ボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。



7-1. テンプレート管理画面

グループリスト。
テンプレートを格納する、
グループを表示します。

テンプレートリスト。
グループ内に格納されている、
テンプレートを表示します。

テンプレート。
グループ。
グループは階層構造に
なっています。

テンプレートリストの表示形式を変更
します。

- 一覧

グループ内のテンプレート(T): 表示(M): 一覧

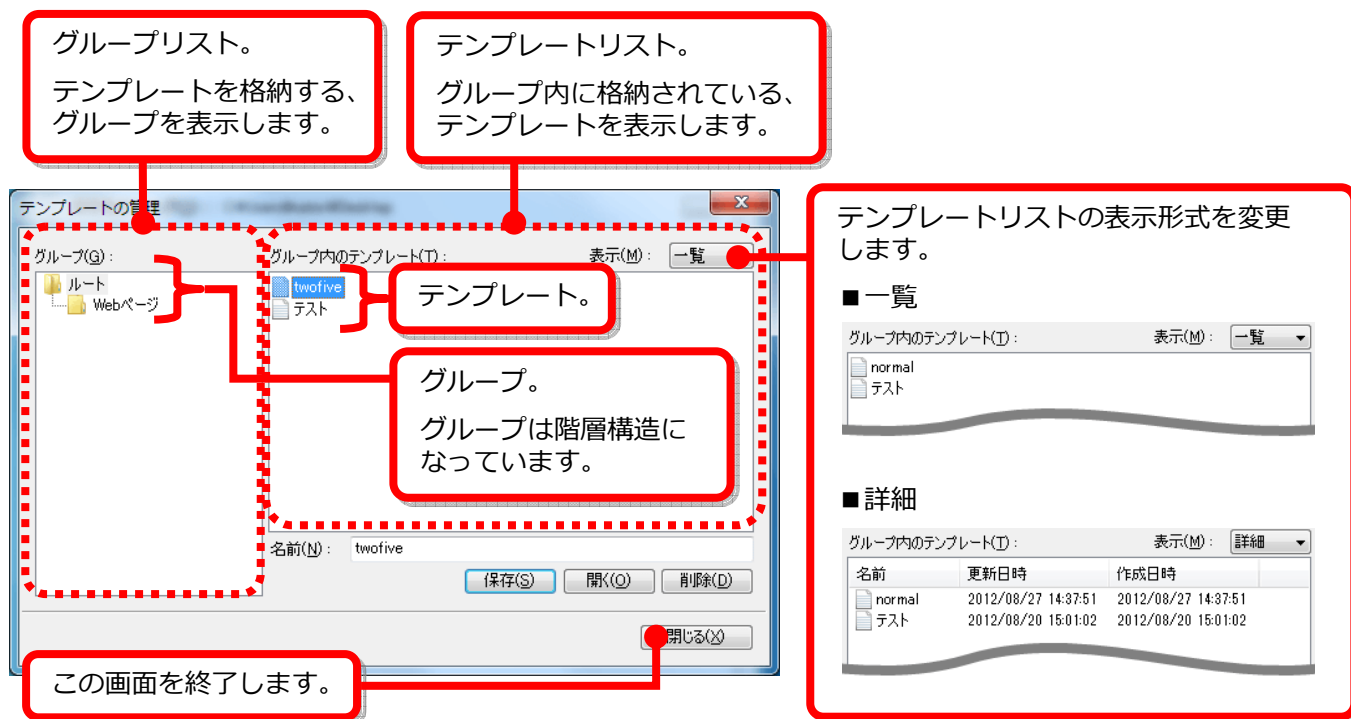
normal
テスト

- 詳細

グループ内のテンプレート(T): 表示(M): 詳細

名前	更新日時	作成日時
normal	2012/08/27 14:37:51	2012/08/27 14:37:51
テスト	2012/08/20 15:01:02	2012/08/20 15:01:02

この画面を終了します。

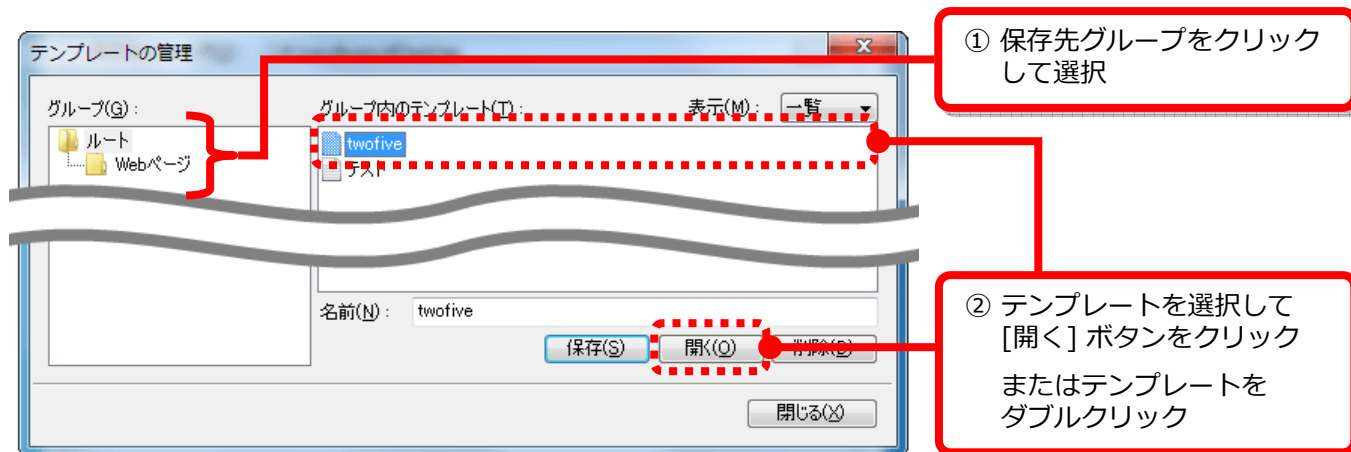


7-2. テンプレートを使用する

テンプレートから設定を呼び出し、ファイル設定画面に展開します。テンプレートを使用するには、以下の操作を行ってください。

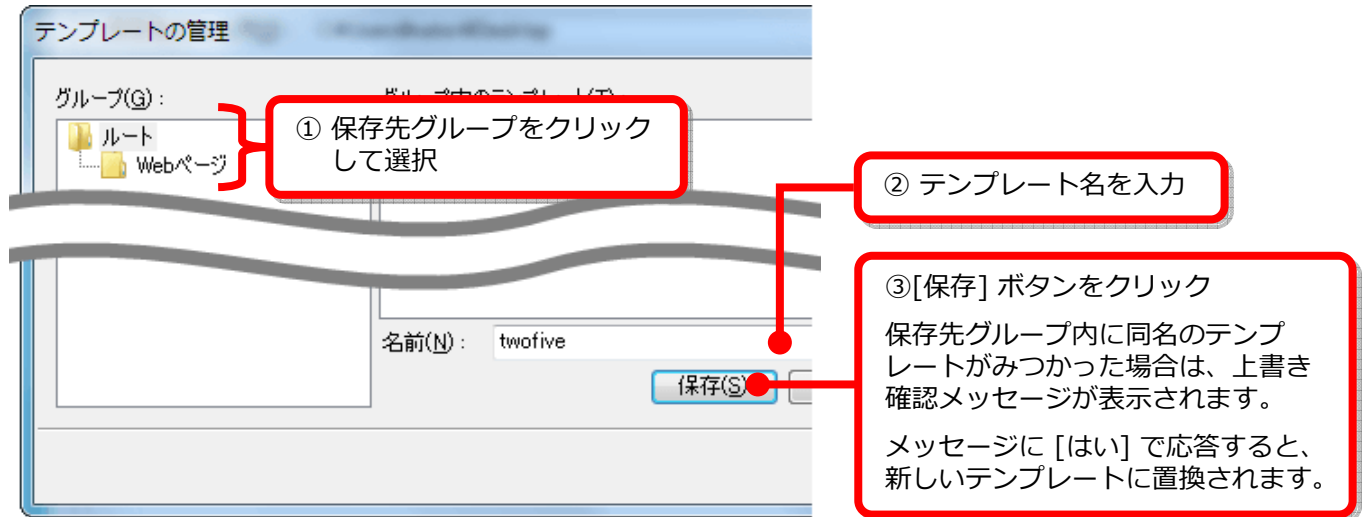
① 保存先グループをクリックして選択

② テンプレートを選択して [開く] ボタンをクリック
またはテンプレートをダブルクリック



7-3. テンプレートを保存する

ファイル設定画面で作成した設定を、テンプレート (雛型) として保存します。
テンプレートを保存するには、以下の操作を行ってください。



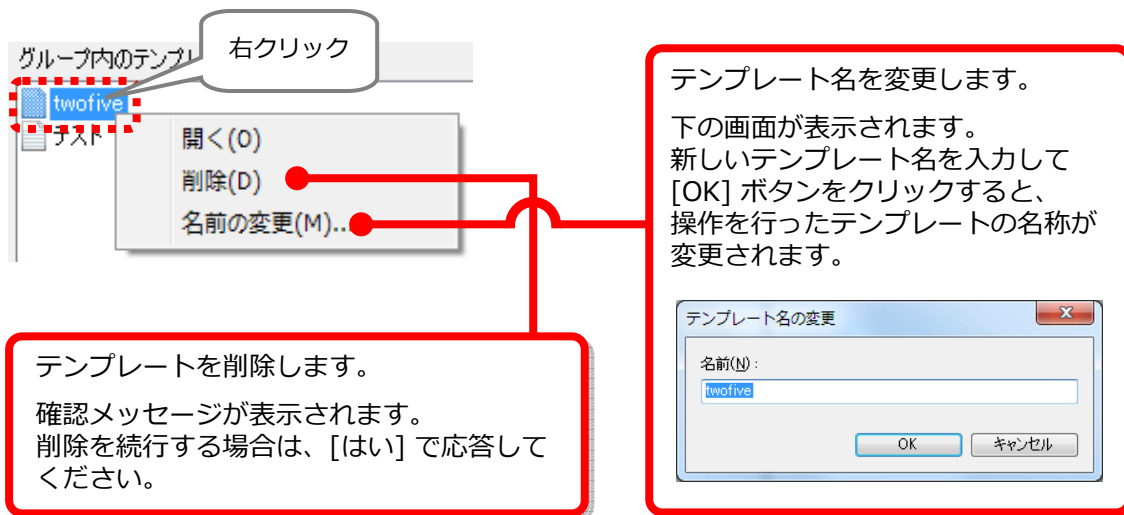
① 保存先グループをクリックして選択

② テンプレート名を入力

③ [保存] ボタンをクリック
保存先グループ内に同名のテンプレートが見つかった場合は、上書き確認メッセージが表示されます。
メッセージに [はい] で応答すると、新しいテンプレートに置換されます。

7-4. テンプレートの名前を変更する/テンプレートを削除する

テンプレート名の変更、並びにテンプレートの削除を行うには、次の操作を行ってください。



右クリック

開く(O)
削除(D)
名前の変更(M)...

テンプレートを削除します。
確認メッセージが表示されます。
削除を続行する場合は、[はい] で応答してください。

テンプレート名を変更します。
下の画面が表示されます。
新しいテンプレート名を入力して [OK] ボタンをクリックすると、操作を行ったテンプレートの名称が変更されます。

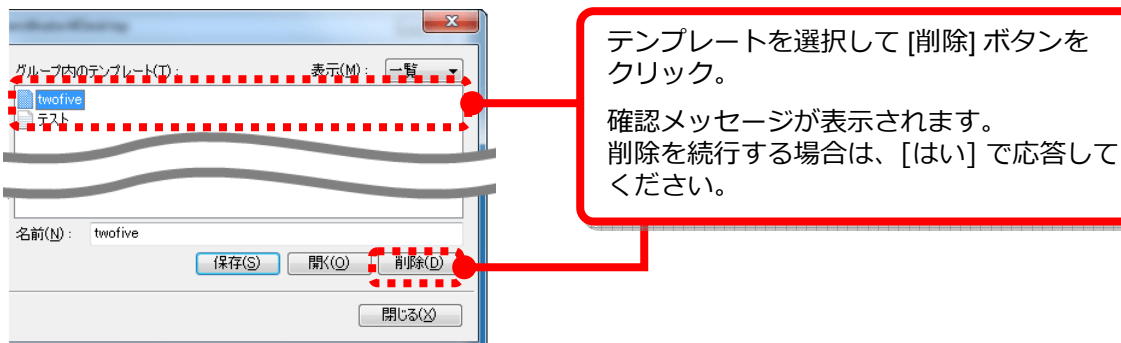
テンプレート名の変更

名前(N):
twofive

OK キャンセル

■テンプレートの削除

テンプレートは、次の操作でも削除することができます。



グループ内のテンプレート(D):

twofive

名前(N): twofive

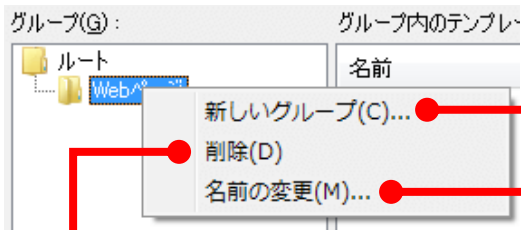
保存(S) 開く(O) 削除(D) 閉じる(C)

テンプレートを選択して [削除] ボタンをクリック。
確認メッセージが表示されます。
削除を続行する場合は、[はい] で応答してください。

7-5. グループを編集する

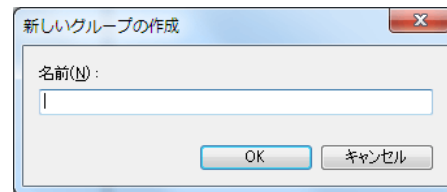
テンプレートは、グループを作って整理することができます。
グループ内に、さらにグループ (サブグループ) を作成することも可能です。

グループを編集するには、グループリスト内の編集対象グループを右クリックしてください。



新しいグループを作成します。

下の画面が表示されます。
追加するグループの名前を入力して [OK] ボタンをクリックすると、操作を行ったグループにサブグループが作成されます。



グループを削除します。(★)

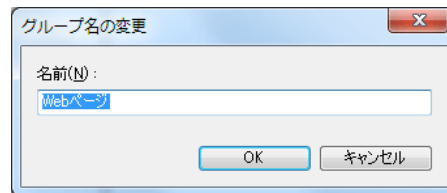
確認メッセージが表示されます。
メッセージに [はい] で応答すると、グループが削除されます。

なお、削除の際、対象グループの内容物 (テンプレート、並びにサブグループと、その中のテンプレート) も、一緒に削除されます。

★「ルート」グループは、名前の変更、並びに削除することはできません。

グループ名を変更します。(★)

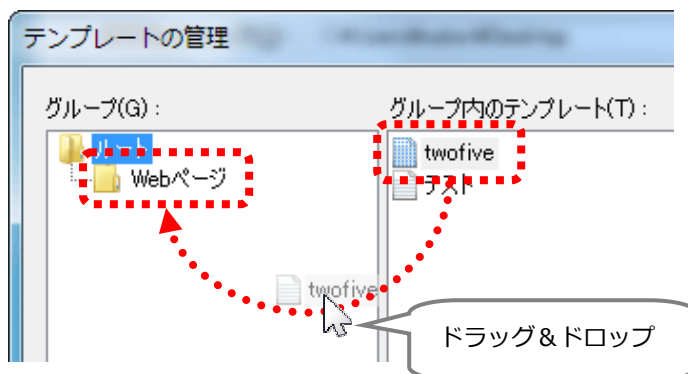
下の画面が表示されます。
新しいグループ名を入力して [OK] ボタンをクリックすると、操作を行ったグループの名称が変更されます。



7-6. テンプレートを移動する

テンプレートを他のグループに移動するには、テンプレートを入れたいグループにドラッグ&ドロップしてください。

移動先のグループ内に、同名のテンプレートが存在する場合は、上書き確認メッセージが表示されます。
メッセージに [はい] で応答すると、移動してきたテンプレートに置換されます。



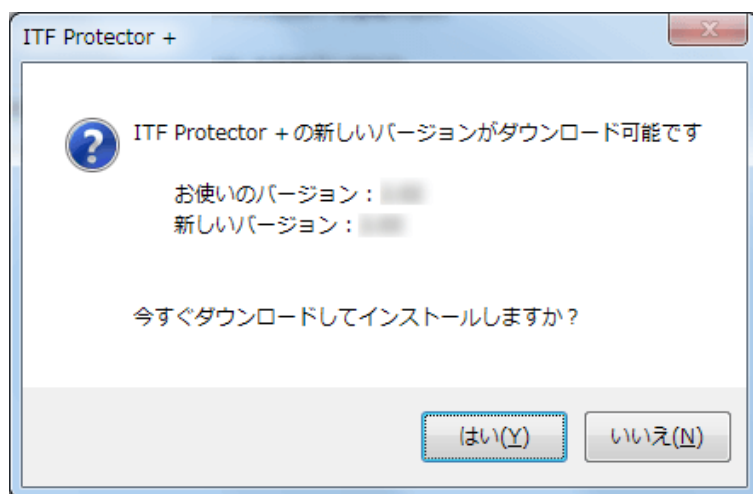
8. ITF Protector+ をバージョンアップする

新しいバージョンの ITF Protector+ が公開されている場合は、設定画面起動時にお知らせします。

設定画面起動時に、お使いの ITF Protector+ より新しいバージョンが見つかった場合は、下のメッセージが表示されます。

新しいバージョンをインストールするには、メッセージに [はい] で応答してください。

新しいバージョンのセットアップがダウンロードされ、セットアップが自動実行されます。



9. Webサイト「NET Security」について

NETセキュリティを使用して作成したITFファイルは、セキュリティ設定がWebサーバ上に記録されます。ファイル作成者は、このWebサーバ上のセキュリティ設定を専用Webサイト「NET Security」にて、後から任意に変更することができます。

また、NET Security では、ファイル毎の閲覧者指定機能や変更/閲覧履歴の確認といった、ITF Protector+ 本体にはない機能をご利用いただけます。

NET Security をご利用になるには、ITF Protector+、または ITF Veiver+/ITF Viewer 上で NET Security を表示する操作 (※) を行ってください。

Webブラウザが起動し、NET Security のページが表示されます。

※. NET Security の表示方法は、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

9-1. ログインパスワードの設定

NET Security は、ITF Protector+ をインストールしたPC毎にアカウントが作成されます。

初めて NET Security にアクセスした時やパスワードリセット後など、お使いのアカウントにログインパスワードが設定されていない場合は、下の「ログインパスワードの設定」ページが表示されます。

画面の指示に従い、パスワードの登録を行ってください。

なお、ここで設定したパスワードは、次回以降のログイン時に必要となります。

忘失せぬよう、管理してください。

ログインパスワードの設定

このページをご利用いただくには、ログイン用パスワードをご登録いただく必要があります。
任意のパスワード（半角英数字8～32文字）をご入力の上、[登録] ボタンをクリックしてください。

パスワード:

パスワード(確認):

登録

■パスワードの設定が完了している場合は…

下の「ログイン」ページが表示されます。
設定したパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックしてください。

ログイン

パスワードをご記入の上、[ログイン] ボタンをクリックしてください。

パスワード: ログイン

パスワードをお忘れの方は、[こちら](#)

9-2. メニューについて

NET Security へのログインに成功すると、ページ左にあるメニューが操作できるようになります。

有料の項目をご利用になるには、別途「NETセキュリティ強化オプション」をご購入ください。

ITFファイルの管理	NETセキュリティを使用したITFファイルの、セキュリティ設定を管理します。
ゴミ箱の整理	論理削除されたセキュリティ設定の復元、または完全削除を行います。
ホストの管理	ホストの新規登録、登録済みホストの編集/削除を行います。
閲覧者の管理	閲覧者の新規登録、登録済み閲覧者の編集/削除を行います。
閲覧者グループの管理	閲覧者グループの新規登録、登録済みグループの編集/削除を行います。
通知設定とデータ保管期間	指定事象発生時の連絡先登録、並びに閲覧が不能になったセキュリティ設定や変更/閲覧ログの保管期間を設定します。
ログインパスワードの変更	ログインパスワードの変更を行います。
Privacy Policy	
ログアウト	「ログイン」ページに戻ります。

10. ITFファイルの管理

NET Security 上では、Web上のセキュリティ設定を「ITFファイル」と表記しています。表記統一のため、本書でもこれ以後、Web上のセキュリティ設定を「ITFファイル」と表記します。

10-1. リストページの概要

このページでは、ITFファイルとフォルダの管理を行います。最初に、ITFファイルとフォルダを一覧表示した、下の「リストページ」が表示されます。

ITFファイルの管理

ITFファイル、及びフォルダを変更するには 、削除するには 、別のフォルダに移すには 、それぞれクリックしてください。

ITFファイルを削除すると、ゴミ箱に移されます。ゴミ箱に移したITFファイルに紐づいているPC上のITFファイルは、閲覧出来なくなり、また、フォルダは直ちに削除され、内容物は上位フォルダに移されます。

閲覧不能なものを全てゴミ箱へ移動する

検索

テスト11
ルート > テスト10 > テスト11

36 個のアイテムがあります。

並び順: 名称(降順)

サブフォルダを作成

リストの並び順を指定します。

現在表示しているフォルダ内にある、アイテム (ITFファイルとフォルダ) の合計数。
検索時は、条件に合致したアイテムの合計数を表示します。

チェックボックスは、リストのチェックボックスと連動しています。
また、 をクリックすると画面を最新の情報に更新します。

フォルダ名、または「このフォルダに移動」アイコンをクリックすると、そのフォルダに移動します。

フォルダ

ITFファイル

ファイルのタイトルをクリックすると、ITFファイルの編集画面に遷移します。

セキュリティ設定、及び状態 (閲覧回数など) を表示します。

このアイテムを編集、移動、または削除します。

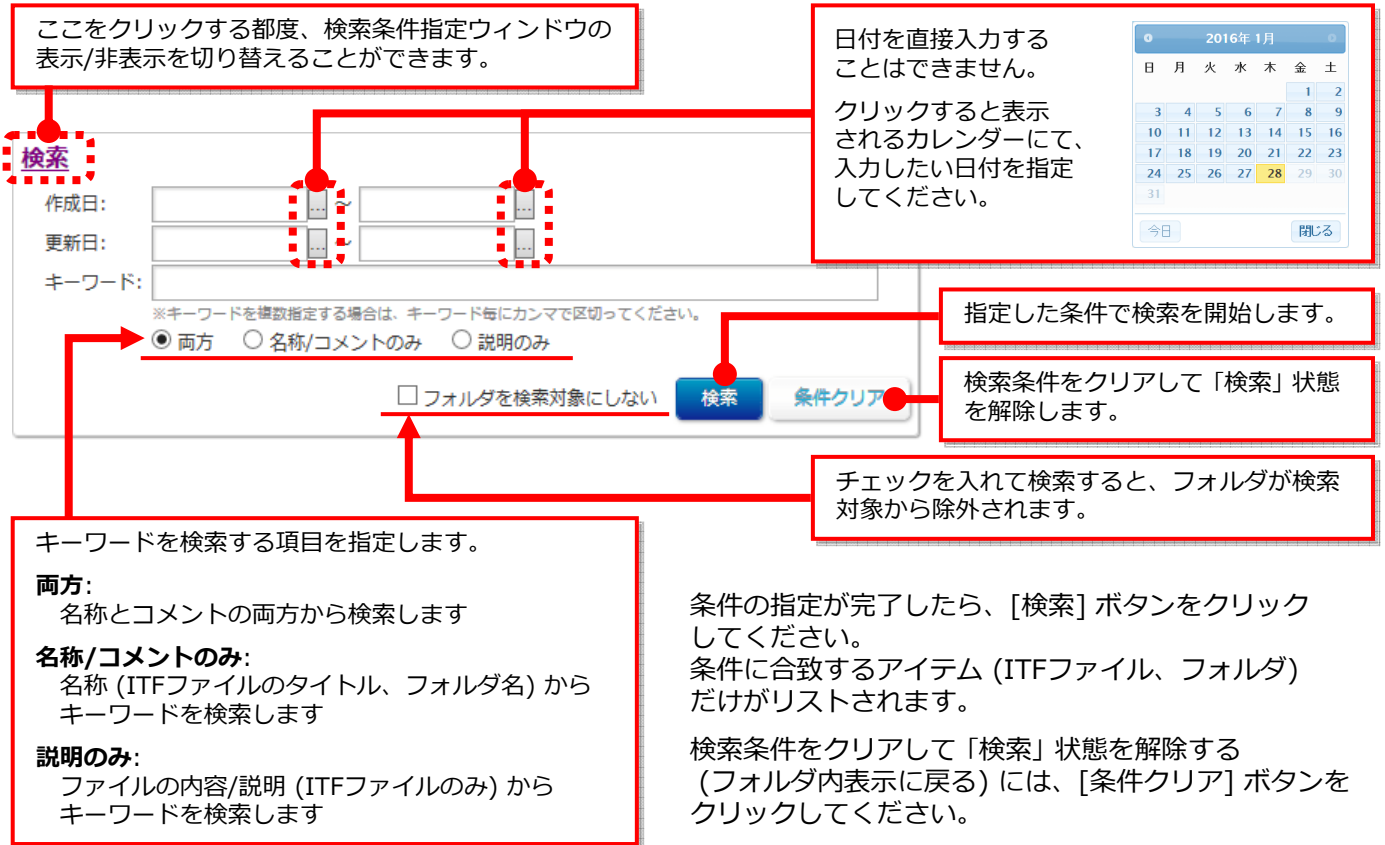
このITFファイルの編集/閲覧履歴を表示します。

選択した (チェックを入れた) ものを、まとめて別のフォルダに移動、または削除します。

選択したものを **移動** **削除**

10-2. アイテムを検索する

検索機能を使用すると、ご指定の条件に合致したアイテム (ITFファイル、フォルダ) だけをリストすることができます。



ここをクリックする都度、検索条件指定ウィンドウの表示/非表示を切り替えることができます。

検索

作成日:

更新日:

キーワード:

※キーワードを複数指定する場合は、キーワード毎にカンマで区切ってください。

両方 名称/コメントのみ 説明のみ

フォルダを検索対象にしない

検索 条件クリア

日付を直接入力することはできません。

クリックすると表示されるカレンダーにて、入力したい日付を指定してください。

2016年1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2						
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

今日 閉じる

指定した条件で検索を開始します。

検索条件をクリアして「検索」状態を解除します。

チェックを入れて検索すると、フォルダが検索対象から除外されます。

キーワードを検索する項目を指定します。

両方:
名称とコメントの両方から検索します

名称/コメントのみ:
名称 (ITFファイルのタイトル、フォルダ名) からキーワードを検索します

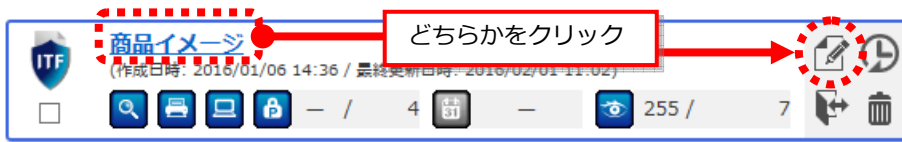
説明のみ:
ファイルの内容/説明 (ITFファイルのみ) からキーワードを検索します

条件の指定が完了したら、[検索] ボタンをクリックしてください。
条件に合致するアイテム (ITFファイル、フォルダ) だけがリストされます。

検索条件をクリアして「検索」状態を解除する (フォルダ内表示に戻る) には、[条件クリア] ボタンをクリックしてください。

10-3. ITFファイルを編集する

リストページにて、編集したいITFファイルの 、またはタイトルをクリックしてください。



「ITFファイルの編集」ページが表示されます。必要項目を修正して、[更新] ボタンをクリックしてください。セキュリティの設定方法は、ITF Protector のセキュリティ設定画面に準じます。

ITFファイルの更新が完了すると、リストページに戻ります。

ITFファイルの管理

ITFファイルの編集

必要な項目を設定の上、[更新] ボタンをクリックしてください。
更新せずにリストに戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- ドキュメント
 - 場所: ルート
 - タイトル: 商品イメージ
 - コメント:
 - 内容/説明など:
- 機能の制限
 - 印刷を許可しない
 - クリップボードへのコピーを許可しない
- セキュリティの制限

パスワード	現在の認証エラー回数: 4回 <input type="checkbox"/> 認証エラー回数をリセットする <input checked="" type="checkbox"/> パスワードを設定する パスワード: ●●●●●●●● 自動生成 確認用: ●●●●●●●● 許可回数: 0回 (0 ~ 255)
有効期限	<input type="checkbox"/> 有効期限を設定する 有効期限: 2016/01/06 午後 11 時 59 分
閲覧回数制限	現在、2回閲覧されています。 (最終閲覧日時: 2016/01/06 15:02) <input checked="" type="checkbox"/> 閲覧回数を制限する 許可回数: 255回 (1 ~ 255)

セキュリティ設定に関するプロパティを非表示にする

ITFファイルの名称。(※)
この項目は、入力必須です。
なお、同一フォルダ内の他ファイルと重複する名称への変更はできません。
※NET Security 上での名称です。
PC上のファイル名とは連動しません。

コメントやファイルの説明など、任意のキーワードを入力してください。
ここに入力した内容は、検索に使用することができます。

認証エラーがある場合、このチェックボックスが表示されます。
ここにチェックを入れて更新すると、認証エラー回数がリセットされます。

クリックすると、「パスワード」欄に入力されているパスワードを確認できます。

クリックすると、「パスワード自動生成」ダイアログを表示します。
「パスワード自動生成」ダイアログについて、詳しくは P.41 をご覧ください。

日付を直接入力することはできません。
クリックすると表示される、カレンダーで日付を指定してください。

2015年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
今日		閉じる				

ロイヤリティ情報に関するプロパティを非表示にする

- ログ収集設定**
 このファイルの閲覧時に、より詳細な操作情報の提供を閲覧者に要求します。ファイル閲覧者には操作情報が作成者に送信される旨が通知され、情報送信に承諾しない場合このファイルを閲覧できません。
 閲覧者の操作ログを収集する
- 閲覧可否設定**
 この機能による閲覧制限は、ITF Finder 所有者にのみ有効です。閲覧制限を設定した場合、その設定内容に関わらず ITF Finder を所有していないユーザーはこのファイルを閲覧できません。
 フォルダの設定を継承する
 - 閲覧を制限しない
 - 指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する
 - 指定したホスト/閲覧者からの閲覧を拒否する
- 通知設定**
 次の事象が発生したら、通知メールを に送信します。
 ★ のついた項目の検知には、閲覧者の操作ログ収集設定が必要です。
 - 閲覧された時 (回毎)
 - 印刷された時 ★
 - 閲覧を許可していないホスト/閲覧者から閲覧要求があった時
 - 指定外のメディア/デバイス上からの閲覧要求があった時 ★
 - セキュリティ違反により、ファイルが閲覧できなくなった時
 - 日経過時 (閲覧回数通知)

更新

ここにチェックを入れると、ファイル閲覧者に、閲覧環境や操作内容など、詳細な情報の提供を要求します。収集した情報は、ログ閲覧ページで確認できます。

このファイルの閲覧者を限定することができます。詳細な設定方法については、P.46をご覧ください。

ここでチェックした事象が発生した時に、ご指定のメールアドレスに通知メールを送信します。
この設定を行う前に、「通知設定とデータ保管期間」(→P.58)にて、通知先メールアドレスを設定しておく必要があります。

更新せずに、リストページに戻ります。

■パスワード自動生成ダイアログについて

このダイアログで、無作為なパスワードを自動生成することができます。

生成規則を指定して [生成] ボタンをクリックすると、ご指定の規則に則ったパスワードが生成されます。生成されたパスワードを使用する場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。生成されたパスワードが、パスワード入力欄に自動入力されます。

パスワード自動生成 ✕

文字数: 8文字 16文字

文字種: 数字 大文字 小文字 記号

類似した文字は使用しない
 同じ文字は使用しない

8、16以外の文字数を設定する場合は、ここにチェックを入れ、任意の文字数を入力してください。


[生成する] ボタンをクリックすると、ここに生成されたパスワードが表示されます。

パスワードの生成を中止して、この画面を終了します。

ここにチェックを入れると、「I (大文字のアイ)」や「l (小文字のエル)」など、見間違い易い文字が使用されなくなります。

10-4. ITFファイルの編集/閲覧履歴を閲覧する


NET Security で管理しているITFファイルでは、ファイルの編集や閲覧された履歴が記録されています。

リストページにて、履歴を確認したいITFファイルの  をクリックしてください。
履歴表示ページが別ウィンドウで表示されます。



検索機能を使用すると、ご指定の条件に
合致したログだけを表示することができ
ます。


ITF編集ページにて、「閲覧者の操作ログを収集する」に
チェックを入れたITFファイルでは、閲覧者の詳細な情報
が記録されます。

詳細情報がある場合は、 が表示されます。
これをクリックすると、詳細情報の表示/非表示が切り替
わります。

2016/01/06 ITFファイルが閲覧されました (閲覧回数: 6 / 255)
14:58 閲覧者:  作成者

PC名: (IPアドレス:)
PC上のユーザー名:
使用OS:
閲覧アプリケーション: ITF Viewer
PC上のITFファイル:
C:\Users¥ ¥Desktop¥ ¥.itf

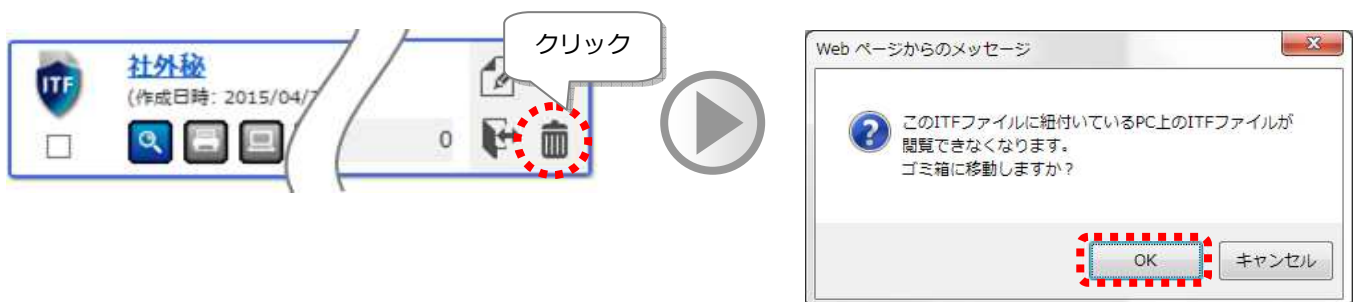
10-5. ITFファイルを削除する

リストページにて、削除対象ITFファイルの  をクリックしてください。

確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] ボタンをクリックしてください。

削除したITFファイルは一旦「ゴミ箱」に移され、ITFファイルが「ゴミ箱」内にある間は復元することができます。

なお、ITFファイルを削除すると、**削除したITFファイルに紐付いている、実物のファイル (PC上のファイル) が閲覧
できなくなります。**



■ご注意

Google Chrome をお使いの場合、同一ページ内でメッセージボックスを何度も表示させると、メッセージボックス内に「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」というチェックボックスが表示されますが、これにはチェックを入れないでください。

チェックを入れてメッセージに回答しまうと、以後確認メッセージが表示されなくなり、処理を続行できなくなります。

もしチェックを入れて応答してしまった場合は、Google Chrome を再起動してください。

10-6. フォルダを作成する

ITFファイルは、フォルダで仕分けして管理することができます。
また、フォルダ内に、さらにフォルダ (サブフォルダ) を作成することも可能です。

サブフォルダを作成するには、リストページにて作成したいフォルダを表示して、[サブフォルダを作成] ボタンをクリックしてください。

下の「フォルダの作成」ページが表示されます。

必要項目の設定後、[作成] ボタンをクリックしてください。フォルダの作成が実行され、リストページに戻ります。

ITFファイルの管理

フォルダの作成

必要な項目を設定の上、[作成] ボタンをクリックしてください。
作成せずにリストに戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- フォルダ
 - 場所: ルート
 - 名称:
 - コメント:
- 閲覧可否設定

この機能による閲覧制限は、ITF Finder 所有者にのみ有効です。
閲覧制限を設定した場合、その設定内容に関わらず ITF Finder を所有していないユーザーは閲覧できません。

 - 閲覧を制限しない
 - 指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する
 - 指定したホスト/閲覧者からの閲覧を拒否する

Callouts:

- フォルダを作成しようとしている場所を表示します。
- フォルダ名を入力してください。この項目は、入力必須です。なお、同一フォルダ内に同じ名称のサブフォルダを作成することはできません。
- フォルダの説明など、任意のコメントを入力してください。ここに入力した内容は、検索に使用することができます。
- このフォルダ内に入れられたITFファイルの閲覧者を限定することができます。詳細な設定方法については、P.46をご覧ください。
- フォルダの作成を中止します。

10-7. フォルダを編集する

既存のフォルダを編集するには、リストページにて編集対象フォルダの  をクリックしてください。

下の「フォルダの編集」ページが表示されます。

なお、「ルート」フォルダは、編集できません。

編集完了後、[更新] ボタンをクリックしてください。フォルダの更新が実行され、リストページに戻ります。

ITFファイルの管理

フォルダの編集

必要な項目を設定の上、[更新] ボタンをクリックしてください。
更新せずにリストに戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- フォルダ
 - 場所: ルート
 - 名称: テスト
 - コメント:
- 閲覧可否設定


この機能による閲覧制限は、ITF Finder 所有者にのみ有効です。
制限を設定した場合、その設定内容に関わらず ITF Finder を所有していないユーザーは閲覧できません。

 - 制限しない
 - 指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する
 - 指定したホスト/閲覧者からの閲覧を拒否する

Callouts:

- 編集対象のフォルダが在る場所を表示します。
- フォルダ名を入力してください。この項目は、入力必須です。なお、同一フォルダ内に同じ名称のサブフォルダを作成することはできません。
- フォルダの説明など、任意のコメントを入力してください。ここに入力した内容は、検索に使用することができます。
- このフォルダ内に入れられたITFファイルの閲覧者を限定することができます。詳細な設定方法については、P.46をご覧ください。
- フォルダの更新を中止します。

10-8. フォルダを削除する

リストページにて、削除対象フォルダの  をクリックしてください。
確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] ボタンをクリックしてください。

なお、フォルダは直ちに削除されます。

削除したフォルダ内にあったアイテム (ITFファイル、サブフォルダ) は、削除フォルダの上位フォルダに移動されます。

また、「ルート」フォルダは、削除できません。




■ご注意

Google Chrome をお使いの場合、同一ページ内でメッセージボックスを何度も表示させると、メッセージボックス内に「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」というチェックボックスが表示されますが、これにはチェックを入れないでください。

チェックを入れてメッセージに回答しまうと、以後確認メッセージが表示されなくなり、処理を続行できなくなります。

もしチェックを入れて応答してしまった場合は、Google Chrome を再起動してください。

10-9. アイテムを移動する

リストページにて、移動したいアイテム (ITFファイル、フォルダ) の  をクリックしてください。
複数のアイテムをまとめて移動するには、移動したいアイテムにチェックを入れ、リスト下部にある [移動] ボタンをクリックしてください。

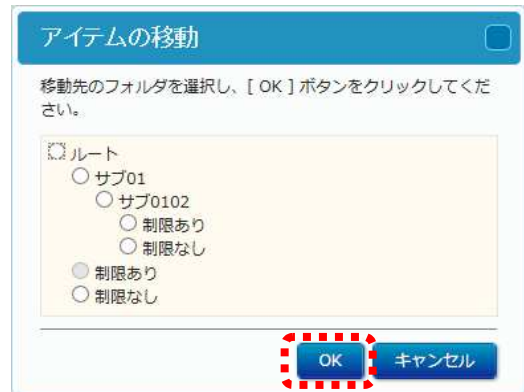


「アイテムの移動」ダイアログが表示されます。
移動先のフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックしてください。

なお、移動先に同名のアイテムがある場合は、移動できません。

■ インフォメーション

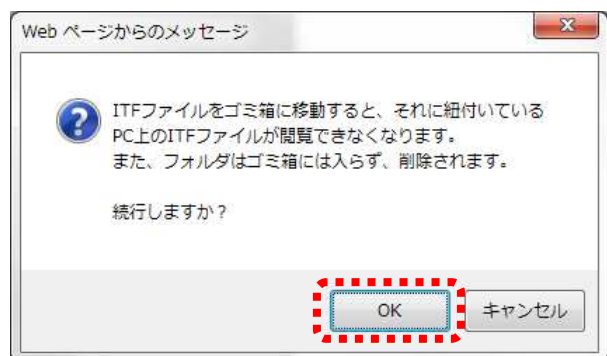
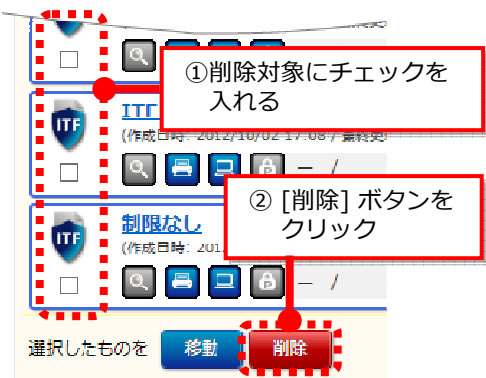
移動対象が1つで、且つ移動先フォルダがリスト内に表示されている場合は、移動対象を移動先フォルダにドラッグ&ドロップすることでも、移動が可能です。



10-10. 複数のアイテムをまとめて削除する

リストページにて、削除したいアイテム (ITFファイル、フォルダ) にチェックを入れ、リスト下部にある [削除] ボタンをクリックしてください。

確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] ボタンをクリックしてください。



■ ご注意

Google Chrome をお使いの場合、同一ページ内でメッセージボックスを何度も表示させると、メッセージボックス内に「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」というチェックボックスが表示されますが、これにはチェックを入れないでください。

チェックを入れてメッセージに回答しまうと、以後確認メッセージが表示されなくなり、処理を続行できなくなります。

10-11. ITFファイルの閲覧者を限定する

ITFファイル毎に、閲覧者を限定することが可能になります。

この閲覧者限定はフォルダに対しても設定することができ、フォルダに設定した場合は、設定したフォルダ内のITFファイルに、設定を継承させることが可能です。

※ITFファイル作成者自身による閲覧は、本設定の制限内容に関わらず可能です。

なお、この機能は ITF Viewer+ を所有している閲覧者が対象です。

本設定の閲覧可能条件を満たしていたとしても、閲覧者が ITF Viewer+ を所有していない場合は、ファイルを閲覧できません。

また、この機能をご利用になる前に、ホスト、並びに閲覧者を登録しておく必要があります。

ホストや閲覧者の登録については、「12. ホストの管理 (→P.50)」及び「13. 閲覧者の管理 (→P.53)」をご覧ください。

• 閲覧可否設定

この機能による閲覧制限は、ITF Finder 所有者にのみ有効です。

閲覧制限を設定した場合、その設定内容に関わらず ITF Finder を所有していないユーザーはこのファイルを閲覧できません。

フォルダの設定を継承する

- 閲覧を制限しない
- 指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する
- 指定したホスト/閲覧者からの閲覧を拒否する

これらを選択すると、現在設定されているもの(※)がリスト表示されます。

- 閲覧を制限しない
 - 指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する
- 現在選択されているホスト、グループ/閲覧者 編集
- [不明]
 - [不明]
- 指定したホスト/閲覧者からの閲覧を拒否する

ITFファイルでの設定では、このチェックボックスが表示されません。

このITFファイルを格納しているフォルダの設定を継承する場合は、ここにチェックを入れてください。

閲覧者を限定しません。(本機能を使用しません)

指定した閲覧者だけに閲覧を許可します。

指定した閲覧者の閲覧を拒否します。

※未設定時、リストには初期値として、ホストや閲覧者の登録時に指定した閲覧可否設定に準じたアイテムが列挙されます。

「指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する」または「指定したホスト/閲覧者からの閲覧を拒否する」を選択すると、選択した項目に指定されているアイテム (ホスト、グループ/閲覧者) がリストされます。

リストを編集するには [編集] ボタンをクリックしてください。

対象アイテムの選択表示に切り替わります。

対象にしたいアイテムにチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックしてください。

ホストと閲覧者のリストは、名称による絞込みや並び替えを利用できます。
また、件数表示のチェックリストは、リストのチェックリストに連動しています。

● 指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する

対象のホスト、閲覧者/グループにチェックを入れてください。
ホストが1つも選択されていない場合、ホストに対する検索は行いません。

ホスト

検索: 検索

並び順: ユーザー指定順

2件のアイテム

- [不明]
- [不明]

閲覧者

検索: 検索

並び順: ユーザー指定順

2件のアイテム

- [不明]
- [不明]

グループ名の後ろの括弧付き数字は、そのグループに所属している閲覧者数を表しています。
マウスカーソルをかざすと、所属している閲覧者が表示されます。
選択したグループにサブグループがある場合、サブグループに所属する閲覧者にも設定が適用されます。

「指定したホスト/閲覧者からの閲覧のみ許可する」が設定されているITFファイルを閲覧時、ホストとグループ/閲覧者の両方に該当しない閲覧者は、ファイルを閲覧できません。

「指定したホスト/閲覧者からの閲覧を拒否する」が設定されている場合、指定されたホスト、グループ/閲覧者の何れかに該当している閲覧者は、ファイルを閲覧できません。

11. ゴミ箱の整理

前項「ITFファイルの管理」にて、NET Security 上で削除されたITFファイルは、一旦「ゴミ箱」に移されます。ITFファイルが「ゴミ箱」内にある間は、復元が可能です。

11-1. 画面概要

ここでは、ゴミ箱に入れられたITFファイルがリストされます。

ゴミ箱の整理

ここでは、削除されたITFファイルが、一時的にリストされます。ITFファイルを復元するには を、完全に削除するには を、それぞれクリックします。

なお、ITFファイル復元の際、格納されていたフォルダが見つからない場合は、ROOTに復元します。また、ITFファイルを完全に削除した場合は、二度と復元できません。

ゴミ箱を空にする

検索

ゴミ箱

11 件のアイテムがあります。

並び替え: 削除日時 (降順)

<input type="checkbox"/>		壁紙1920×1200(3) (削除日時: 2015/04/16 11:58 / 作成日時: 2013/04/17 08:56)		
<input type="checkbox"/>		壁紙1920×1200(2) (削除日時: 2015/04/16 11:57 / 作成日時: 2013/04/17 08:38)		
<input type="checkbox"/>		akatsuka10-hpaaa (削除日時: 2015/04/16 11:57 / 作成日時: 2012/10/18 10:48)		

選択したものを **復元** **消去**

	閲覧回数制限あり (削除日時: 2015/04/21 16:18 / 作成日時: 2012/10/12 13:13)		
	閲覧回数制限あり5回まで (削除日時: 2015/04/16 11:57 / 作成日時: 2013/04/03 09:36)		

このアイテムを復元、または削除します。

セキュリティ設定、及び状態 (閲覧回数など) を表示します。

ゴミ箱内のすべてのITFファイルを、一括で削除します。

なお、ゴミ箱から削除したITFファイルは完全に消去され、二度と復元できません。

ゴミ箱内にある、ITFファイル数。検索時は、検索条件に合致したITFファイルの数を表示します。

チェックボックスは、リストのチェックボックスと連動しています。

リストの並び順を指定します。

選択した (チェックを入れた) ものを、まとめて復元、または削除します。

なお、ゴミ箱から削除したITFファイルは完全に消去され、二度と復元できません。

11-2. ゴミ箱内を検索する

検索機能を使用すると、ご指定の条件に合致したITFファイルだけをリストすることができます。

ここをクリックする都度、検索条件指定ウィンドウの表示/非表示を切り替えることができます。

日付を直接入力することはできません。
クリックすると表示されるカレンダーにて、入力したい日付を指定してください。


指定した条件で検索を開始します。

検索条件をクリアして「検索」状態を解除します。

キーワードを検索する項目を指定します。
両方: 名称とコメントの両方から検索します
タイトル/コメントのみ: ITFファイルのタイトルからキーワードを検索します
説明のみ: ファイルの内容/説明からキーワードを検索します

条件の指定が完了したら、[検索] ボタンをクリックしてください。
条件に合致するITFファイルだけがリストされます。
検索条件をクリアして「検索」状態を解除する(ゴミ箱内表示に戻る)には、[条件クリア] ボタンをクリックしてください。

11-3. ITFファイルを復元する

リストページにて、復元対象ITFファイルの  をクリックしてください。
指定したITFファイルが「ゴミ箱」から出され、「ITFファイルの管理」ページに表示されるようになります。

なお、削除(ゴミ箱に入れられた)時にそのITFファイルを格納していたフォルダが、復元時点で存在しない場合は、「ルート」フォルダ内に復元されます。

■ 復元対象が複数ある場合は…

① 復元対象にチェックを入れる

② [復元] ボタンをクリック

11-4. ITFファイルを削除する

リストページにて、削除対象ITFファイルの  をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] ボタンをクリックしてください。

なお、ゴミ箱から削除したITFファイルは完全に消去され、二度と復元できません。



■ ご注意

Google Chrome をお使いの場合、同一ページ内でメッセージボックスを何度も表示させると、メッセージボックス内に「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」というチェックボックスが表示されますが、これにはチェックを入れないでください。

チェックを入れてメッセージに回答しまうと、以後確認メッセージが表示されなくなり、処理を続行できなくなります。

もしチェックを入れて回答してしまった場合は、Google Chrome を再起動してください。

12. ホストの管理

NET Security 上の ITFファイルにアクセスがあった時、NET Security はその履歴をアクセス者のIPアドレスなどの情報と併せて記録しています。

この記録したIPアドレスを「ホスト」として管理し、ITFファイルの閲覧可否設定に使用することができます。

12-1. リストページの概要

このページには、登録済みのホストがリストされます。

ホストの管理

ホストを追加登録するには、[登録] ボタンをクリックしてください。
登録済みホストの変更を行うには、対象ホストの を、削除するには を、それぞれクリックしてください。

ホストを登録 (新規ホストの登録を行います。)

検索

登録済みホスト

2 件のアイテムがあります。

並び替え: ユーザー指定順 **保存**

<input checked="" type="checkbox"/>	テスト (IPアドレス: / 登録日: 2016/01/13 14:18 更新日: 2016/01/19 16:11)		
<input type="checkbox"/>	test (IPアドレス: / 登録日: 2016/02/02 13:44)		

選択したものを抹消

初期設定が「閲覧拒否」のホスト

初期設定が「閲覧許可」のホスト

このホストを編集、または削除します。

リストの並び順を指定できます。
リスト内のホストは、マウスのドラッグ&ドロップで並び替えることができます。
「ユーザー指定順」を選択している時、[保存] ボタンをクリックすると、リストの並び順を記録させることができます。

現在登録されているホスト数。
検索時は、条件に合致したホスト数を表示します。
チェックボックスは、リストのチェックボックスと連動しています。

選択した (チェックを入れた) ホストを、まとめて削除します。

12-2. ホストを検索する

検索機能を使用すると、ご指定の条件に合致したホストだけをリストすることができます。

ここをクリックする都度、検索条件指定ウィンドウの表示/非表示を切り替えることができます。

検索

登録日: ~

最終更新日: ~

キーワード:

※キーワードを複数指定する場合は、キーワード毎にカンマで区切ってください。

両方 名称のみ コメントのみ

検索

条件クリア

日付を直接入力することはできません。
クリックすると表示されるカレンダーにて、入力したい日付を指定してください。

指定した条件で検索を開始します。

検索条件をクリアして「検索」状態を解除します。

キーワードを検索する項目を指定します。

両方:
名称とコメントの両方から検索します

名称のみ:
ホスト名からキーワードを検索します

コメントのみ:
コメントからキーワードを検索します

条件の指定が完了したら、[検索] ボタンをクリックしてください。
条件に合致するホストだけがリストされます。

検索条件をクリアして「検索」状態を解除する
(登録済みホスト表示に戻る) には、[条件クリア] ボタンをクリックしてください。

12-3. ホストを登録する

ホストを登録するには、リストページ内の [ホストを登録] ボタンをクリックしてください。

下の「閲覧者の登録」ページが表示されます。

必要項目の設定後、[登録] ボタンをクリックしてください。ホストの登録が実行され、リストページに戻ります。

ホストの管理

必要な項目を設定の上、[登録] ボタンをクリックしてください。
登録せずにリストに戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
なお、名称の入力を省略すると、インターネット上に登録されているホスト名が使用されます。

IPアドレスから登録

IPアドレス:

アクセス履歴から登録

登録するホストを選択してください:

ホスト	最近アクセスしたファイル
(IPアドレス:)	商品イメージ (アクセス日時: 2016/01/07 14:07)

名称:

コメント:

閲覧: 許可する 拒否する

登録

キャンセル

これから登録するホストのIPアドレスがわかっている場合は、こちらを選択してIPアドレスを入力してください。

ITFファイルへのアクセス履歴から登録する場合は、こちらを選択して登録するホストを指定してください。


ホスト名を入力してください。(入力必須)
なお、登録済みのホスト名と重複する名称は使用できません。

このホストの説明など、任意のコメントを入力してください。
ここに入力した内容は、検索に使用することができます。

このホストの閲覧可否を設定します。
この指定は、閲覧制限設定時の初期値となります。

登録を中止して、リストページに戻ります。

12-4. ホストを編集する

登録済みホストを編集するには、リストページにて編集対象閲覧者の  をクリックしてください。下の「ホストの編集」ダイアログが表示されます。

編集完了後、[更新] ボタンをクリックしてください。ダイアログが閉じ、ホストの更新が実行されます。



ホストの編集

名称:

コメント:

閲覧: 許可する 拒否する

ホスト名を入力してください。(入力必須)
なお、他の登録済みのホスト名と重複する名称は使用できません。


このホストの説明など、任意のコメントを入力してください。
ここに入力した内容は、検索に使用することができます。

このホストの閲覧可否を設定します。
この指定は、閲覧制限設定時の初期値となります。

更新を中止して、ダイアログを閉じます。

12-5. ホストを削除する

リストページにて、削除対象ITFファイルの  をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] ボタンをクリックしてください。



クリック

Web ページからのメッセージ

消去した情報は、復元できません。
消去を続行しますか？

■ 削除対象が複数ある場合は…

① 削除対象にチェックを入れる

② [選択して者を抹消] ボタンをクリック

選択したものを抹消

■ ご注意

Google Chrome をお使いの場合、同一ページ内でメッセージボックスを何度も表示させると、メッセージボックス内に「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」というチェックボックスが表示されますが、これにはチェックを入れないでください。

チェックを入れてメッセージに回答しまうと、以後確認メッセージが表示されなくなり、処理を続行できなくなります。

もしチェックを入れて応答してしまった場合は、Google Chrome を再起動してください。

13. 閲覧者の管理

弊社ライセンス製品では、製品をインストールしたPC毎に「ITFコード」という特殊なIDを発行しています。ITF Viewer+/ITF Finder や ITF Viewer でITFファイルを開覧する際、これらのアプリケーションは NET Security にITFコードを送信し、NET Security は履歴とともにこれを記録しています。

この NET Security に記録されたITFコードを「閲覧者」として管理し、ITFファイルの開覧可否設定に使用することができます。

■インフォメーション

ITFコードは、ITF Viewer+ の「バージョン情報」ダイアログにて確認することができます。

「バージョン情報」ダイアログの表示方法については、ITF Viewer+ のヘルプをご覧ください。



13-1. リストページの概要

このページには、登録済みの閲覧者がリストされます。

閲覧者の管理

閲覧者を追加登録するには、[登録] ボタンをクリックしてください。
登録済み閲覧者の変更を行うには、対象閲覧者の を、削除するには を、それぞれクリックしてください。

閲覧者を登録 新規閲覧者の登録を行います。

検索

登録済み閲覧者
□ 2 件のアイテムがあります。

並び替え: ユーザー指定順 **保存**

	テスト1 (登録日時: 2015/12/18 11:05 / 最終更新日時: 2016/02/08 13:31) ITFコード: [REDACTED]	
	テスト2 (登録日時: 2016/02/05 17:36 / 最終更新日時: 2016/02/08 13:31) ITFコード: [REDACTED]	

選択したものを抹消

初期設定が「閲覧許可」の閲覧者
(登録日時: 2015/12/18 11:05 / 最終更新日時: 2016/01/14 17:50)
ITFコード: [REDACTED]

初期設定が「閲覧拒否」の閲覧者
(登録日時: 2016/01/08 11:20 / 最終更新日時: 2016/01/20 09:44)
ITFコード: [REDACTED]

この閲覧者を編集、または削除します。

ITFコードは、弊社ライセンス製品をインストールしているPC毎に発行している、特殊なIDです。

選択した (チェックを入れた) 閲覧者を、まとめて削除します。

リストの並び順を指定できます。
リスト内の閲覧者は、マウスのドラッグ&ドロップで並び替えることができます。
「ユーザー指定順」を選択している時、[保存] ボタンをクリックすると、リストの並び順を記録させることができます。

現在登録されている閲覧者数。
検索時は、条件に合致した閲覧者数を表示します。
チェックボックスは、リストのチェックボックスと連動しています。

13-2. 閲覧者を検索する

検索機能を使用すると、ご希望の条件に合致した閲覧者だけをリストすることができます。

ここをクリックする都度、検索条件指定ウィンドウの表示/非表示を切り替えることができます。

検索

登録日: [] []
最終更新日: [] []
キーワード: []

※キーワードを複数指定する場合は、キーワード毎にカンマで区切って下さい。

両方 名称のみ コメントのみ

検索 条件クリア

指定した条件で検索を開始します。

検索条件をクリアして「検索」状態を解除します。

日付を直接入力することはできません。
クリックすると表示されるカレンダーにて、入力したい日付を指定してください。

2016年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

キーワードを検索する項目を指定します。

両方:
名称とコメントの両方から検索します

名称のみ:
閲覧者名からキーワードを検索します

コメントのみ:
コメントからキーワードを検索します

条件の指定が完了したら、[検索] ボタンをクリックしてください。
条件に合致するITFファイルだけがリストされます。

検索条件をクリアして「検索」状態を解除する
(登録済み閲覧者表示に戻る) には、[条件クリア] ボタンをクリックしてください。

13-3. 閲覧者を登録する

閲覧者を登録するには、リストページ内の [閲覧者を登録] ボタンをクリックしてください。
下の「閲覧者の登録」ページが表示されます。

必要項目の設定後、[登録] ボタンをクリックしてください。閲覧者の登録が実行され、リストページに戻ります。

閲覧者の管理

閲覧者の登録

必要な項目を設定の上、[登録] ボタンをクリックしてください。
登録せずにリストに戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

• 閲覧者

コードから登録
ITFコード: []

アクセス履歴から登録
登録する閲覧者を選択してください:
ITFコード 最近アクセスしたファイル

(IPアドレス: []) 商品イメージ (アクセス日時: 2016/01/07 14:07)

名称: []
コメント: []

閲覧: 許可する 拒否する

• 所属するグループ
この閲覧者が所属するグループを指定してください。
所属グループは、複数選択が可能です。

システム部(0)

総務部(0)

総務課(1)

出納係(0)

総務課(1)

登録 キャンセル

これから登録する閲覧者のITFコードがわかっている場合は、こちらを選択してコードを入力してください。

ITFファイルへのアクセス履歴から登録する場合は、こちらを選択して登録する閲覧者を指定してください。

閲覧者名を入力してください。(入力必須)
なお、登録済みの閲覧者名と重複する名称は使用できません。


この閲覧者の説明など、任意のコメントを入力してください。
ここに入力した内容は、検索に使用することができます。

この閲覧者の閲覧可否を設定します。
この指定は、閲覧制限設定時の初期値となります。

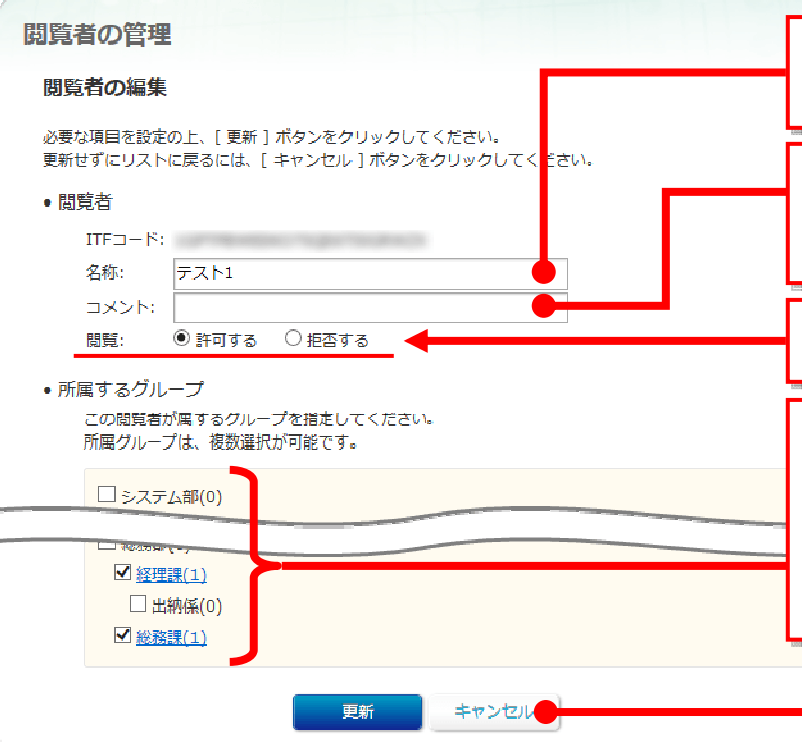
この閲覧者が所属する閲覧者グループを指定してください。
複数のグループを指定することも可能です。
グループ名の後ろの括弧付き数字は、そのグループに所属している閲覧者の人数を表しています。
マウスカーソルをかざすと、所属している閲覧者が表示されます。

登録を中止して、リストページに戻ります。

13-4. 閲覧者を編集する

登録済み閲覧者を編集するには、リストページにて編集対象閲覧者の  をクリックしてください。下の「閲覧者の編集」ページが表示されます。

編集完了後、[更新] ボタンをクリックしてください。閲覧者の更新が実行され、リストページに戻ります。



閲覧者の管理

閲覧者の編集

必要な項目を設定の上、[更新] ボタンをクリックしてください。
更新せずにリストに戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- 閲覧者
 - ITFコード:
 - 名称:
 - コメント:
 - 閲覧: 許可する 拒否する
- 所属するグループ
 - この閲覧者が属するグループを指定してください。
所属グループは、複数選択が可能です。
 - システム部(0)
 - 経理課(1)
 - 出納係(0)
 - 総務課(1)

閲覧者名を入力してください。(入力必須)
なお、別の登録済みの閲覧者名と重複する名称は使用できません。

この閲覧者の説明など、任意のコメントを入力してください。
ここに入力した内容は、検索に使用することができます。

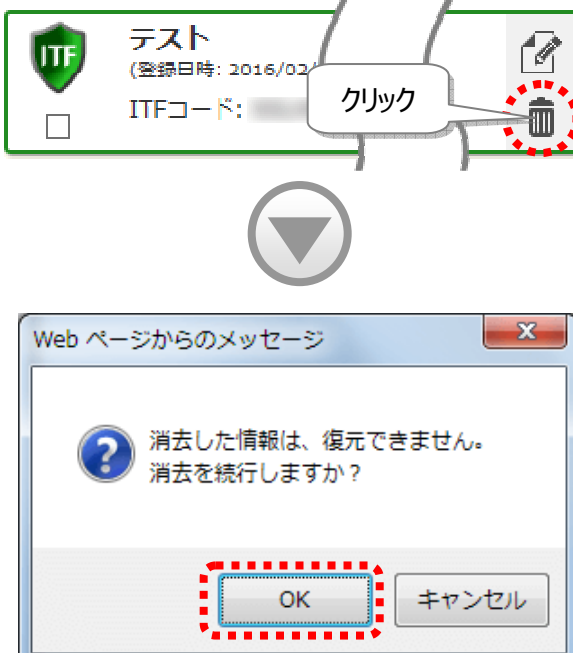
この閲覧者の閲覧可否を設定します。
この指定は、閲覧制限設定時の初期値となります。

この閲覧者が所属する閲覧者グループを指定してください。
複数のグループを指定することも可能です。
グループ名の後ろの括弧付き数字は、そのグループに所属している閲覧者の人数を表しています。
マウスカーソルをかざすと、所属している閲覧者が表示されます。

更新を中止して、リストページに戻ります。

13-5. 閲覧者を削除する

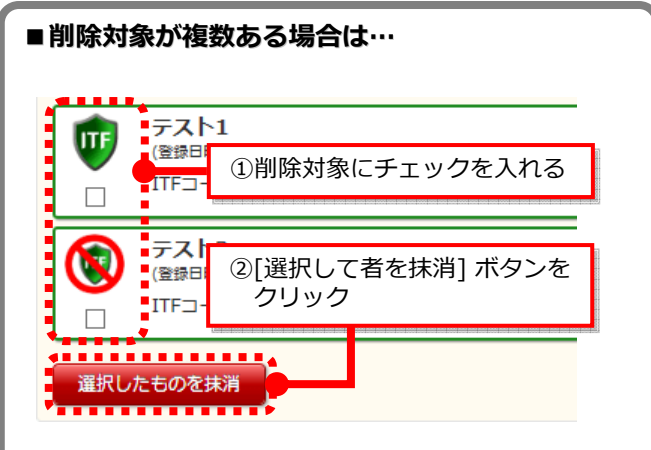
リストページにて、削除対象ITFファイルの  をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] ボタンをクリックしてください。



クリック

Web ページからのメッセージ

消去した情報は、復元できません。
消去を続行しますか？



■ 削除対象が複数ある場合は…

① 削除対象にチェックを入れる

② [選択して者を抹消] ボタンをクリック

選択したものを抹消

14. 閲覧者グループの管理

閲覧者はグループにまとめて、一括してITFファイル閲覧可否を設定することができます。グループにはサブグループを作成でき、閲覧者は複数のグループに所属することが可能です。

14-1. リストページの概要

このページには、登録済みの閲覧者グループがリストされます。リストはグループの主従関係を表現するため、階層構造になっています。

閲覧者グループの管理

グループを追加登録するには、[グループを作成する] ボタンをクリックしてください。グループを変更するには、、削除するには を、それぞれクリックしてください。

グループを作成する

システム部
(作成日時: 2016/01/08 11:40 / 最終更新日時: 2016/02/05 16:07)
このグループに含まれる閲覧者: 1人

総務課
(作成日時: 2015/12/22 10:12 / 最終更新日時: 2016/02/05 16:07)
このグループに含まれる閲覧者: 1人

このグループを編集、または削除します。

クリックすると、このグループの所属閲覧者が表示されます。

14-2. 閲覧者グループを登録する

閲覧者グループを登録するには、リストページ内の [グループを作成する] ボタンをクリックしてください。下の「グループの登録」ページが表示されます。

必要項目の設定後、[登録] ボタンをクリックしてください。グループの登録が実行され、リストページに戻ります。

閲覧者グループの管理

グループの登録

必要な項目を設定の上、[登録] ボタンをクリックしてください。登録せずにリストに戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- グループ
場所: ルート 変更
名称:
コメント:
- 所属する閲覧者
このグループに所属する閲覧者にチェックを入れてください。なお、閲覧者毎に設定されている閲覧可否設定は、グループ内では無視されます。
検索:
 2件の閲覧者 並び順: ユーザー指定順
テスト1
(作成日時: 2015/12/18 11:05 / 最終更新日時: 2016/02/08 13:31)
 ITFコード:
テスト2
(作成日時: 2016/02/05 17:36 / 最終更新日時: 2016/02/08 13:31)
 ITFコード:

登録を中止して、リストページに戻ります。


グループの作成場所を表示します。作成場所を変更するには、[変更] ボタンをクリックすると表示される「所属グループの変更」ダイアログにて、作成先グループを選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

グループ名を入力してください。なお、別の登録済みのグループ名と重複する名称は使用できません。

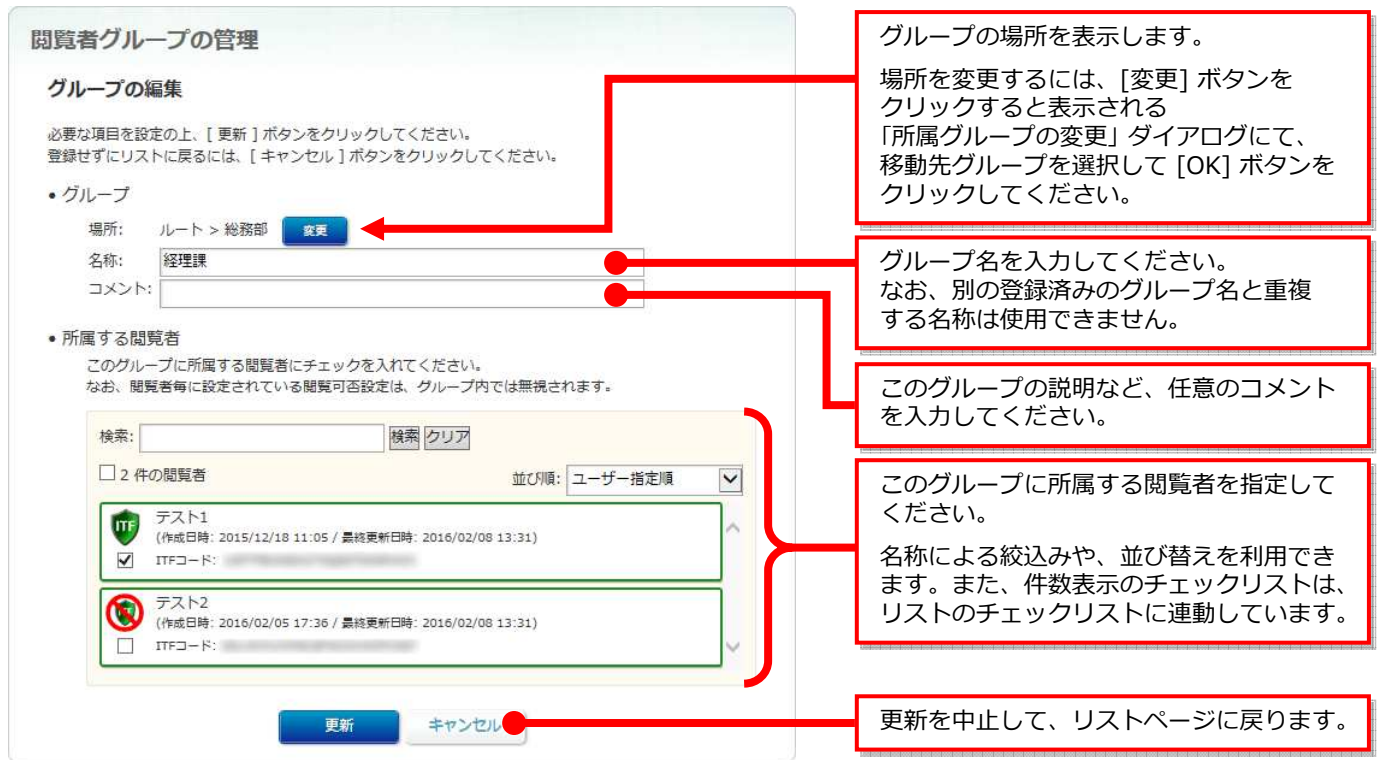
このグループの説明など、任意のコメントを入力してください。

このグループに所属する閲覧者を指定してください。名称による絞り込みや、並び替えを利用できます。また、件数表示のチェックリストは、リストのチェックリストに連動しています。

14-3. 閲覧者グループを編集する

登録済み閲覧者グループを編集するには、リストページにて編集対象グループの  をクリックしてください。下の「グループの編集」ページが表示されます。

編集完了後、[更新] ボタンをクリックしてください。グループの更新が実行され、リストページに戻ります。




このスクリーンショットは「閲覧者グループの管理」画面の「グループの編集」部分を示しています。画面には「場所: ルート > 総務部」で「変更」ボタンがあることが示されています。また、「名称: 経理課」と「コメント」の入力欄、および「所属する閲覧者」の検索リストがあります。検索リストには「テスト1」と「テスト2」の2つの閲覧者が表示されており、それぞれにチェックボックスと「ITFコード」の欄があります。画面下部には「更新」と「キャンセル」のボタンがあります。

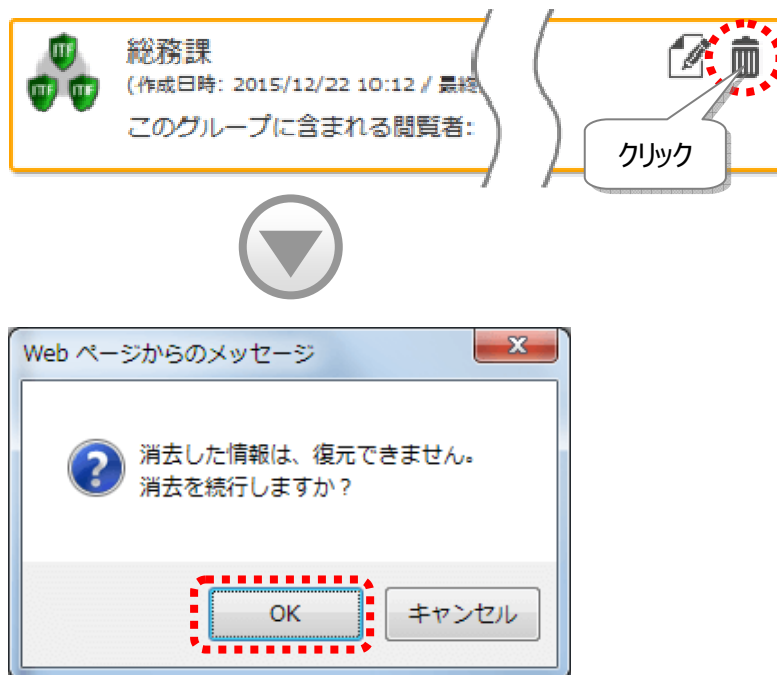
右側の赤い枠で囲まれた説明は以下の通りです:

- グループの場所を表示します。場所を変更するには、[変更] ボタンをクリックすると表示される「所属グループの変更」ダイアログにて、移動先グループを選択して [OK] ボタンをクリックしてください。
- グループ名を入力してください。なお、別の登録済みのグループ名と重複する名称は使用できません。
- このグループの説明など、任意のコメントを入力してください。
- このグループに所属する閲覧者を指定してください。名称による絞り込みや、並び替えを利用できます。また、件数表示のチェックリストは、リストのチェックリストに連動しています。
- 更新を中止して、リストページに戻ります。

14-4. 閲覧者グループを削除する

リストページにて、削除対象グループの  をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。削除を続行するには、[OK] ボタンをクリックしてください。

削除したグループのサブグループは、削除グループの上位グループに移動されます。



この図は、グループ削除の操作と確認メッセージを示しています。上部には「総務課」グループのカードがあり、その右上隅には削除アイコンが赤い点線で囲われており、「クリック」というラベルが付けられています。下部には「Web ページからのメッセージ」ダイアログボックスが表示されており、メッセージ内容は「消去した情報は、復元できません。消去を続行しますか？」です。ダイアログには「OK」と「キャンセル」の2つのボタンがあり、「OK」ボタンは赤い点線で囲われています。

15. 通知設定とデータ保管期間

このページでは、ITFファイルに指定した通知事象が発生した際に送信される、通知メールの送信先の登録、並びに各種データの保管期間の設定を行います。

必要な項目を入力の上、[変更] ボタンをクリックしてください。

通知設定とデータ保管期間

必要に応じて各項目を変更の上、[変更] ボタンをクリックしてください。

- 通知設定
ITFファイルに指定した通知事象が発生したら、次のアドレスに通知メールを送信します。
通知先アドレス(主):
通知先アドレス(副):
通知言語: 日本語 英語
- 各データの保持期間
 - セキュリティ違反データ
セキュリティ違反が発生した時点から 日経過したデータは、自動的にゴミ箱に移されます。
 - ゴミ箱内のデータ
ゴミ箱に入れられた時点から 日経過したデータは、自動的に消去されます。
 - ITFファイルの閲覧ログデータ
発生から 日経過したログは、自動的に消去されます。

個々のITFファイルに設定可能な通知事象発生時の通知メール送信先、並びに送信メールの言語を設定します。

セキュリティ違反によって閲覧不能になった、セキュリティ設定の保管期間を指定します。
セキュリティ違反が発生した日時より、設定した日数を経過したITFファイルは、自動的にゴミ箱に移されます。

ゴミ箱に移された、セキュリティ設定の保管期間を指定します。
ゴミ箱に入れられた日時より、設定した日数を経過したITFファイルは、自動的に消去されます。

ITFファイルの変更/閲覧ログの保管期間を指定します。

■インフォメーション

ゴミ箱内のITFファイルは、保管期間が過ぎて削除されると、復元できません。

16. ログインパスワードの変更

このページでは、NET Security へのログインパスワードの変更を行います。

各項目を入力の上、[変更] ボタンをクリックしてください。

ログインパスワードの変更

現在のパスワードと新しいパスワードを各項目に入力の上、[変更] ボタンをクリックしてください。
なお、パスワードは半角英数字8~32文字で設定してください。

現在のパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワード (確認):

現在設定されているパスワードを入力してください。

新しいパスワードを、8~32文字の英数半角で入力してください。
設定したパスワードは、忘失せぬよう管理してください。